

2013年度 国立大学法人
長崎大学概要

NAGASAKI UNIVERSITY



理 念

長崎大学は、長崎に根づく伝統的文化を継承しつつ、豊かな心を育み、地球の平和を支える科学を創造することによって、社会の調和的發展に貢献する。

基本的目標

長崎大学は、理念実現のため“地域社会とともに歩みつつ、世界にとって不可欠な「知の情報発信拠点」であり続ける”ことを基本目標として掲げ、教育・研究の高度化と個性化を推し進めてきた。新たな中期目標期間においても、この基本目標を堅持しつつ、進むべき方向性と育成すべき人材像を明確に設定し、21世紀の知的基盤社会をリードする。

長崎大学は

- (1) 熱帯医学・感染症、放射線医療科学を中心に食糧資源・環境など本学の特色ある教育研究領域を糾合して「地球と人間の健康と安全」に資する世界的教育研究拠点となる。
- (2) 研究型の総合大学として、教育研究全般の更なる高度化、個性化、国際化を図り、インパクトある研究成果の創出と研究者の育成により、世界に突出する。
- (3) 学部専門教育と教養教育との有機的結合による学士力の涵養と、大学院教育の実質化により、長崎大学ブランドの高度専門職業人を育成する。
- (4) 卓越した教育及び研究成果を社会に還元することにより、地域の教育、医療、行政、産業、経済等の活性化、高度化、国際化に寄与し、地方分権の原動力となる。
- (5) アジア、アフリカ等の海外教育研究拠点における共同研究を推進するとともに、国際貢献・国際協力を目指す専門家人材育成コースを整備・充実させ、途上国の持続的発展に貢献する。
- (6) 学生の夢と人間力を育み、学生の能力の最大限の伸長を図るとともに、若手研究者の自立支援のための環境整備を行い、志と覇気にあふれた若者が集うキャンパスを実現する。
- (7) 点検・評価結果を教育及び研究の改善へ直結させ、大学運営体制を組織的かつ不断に改革することで、大学法人の経営基盤を強化する。

目 次

沿 革

| | |
|---------|---|
| 沿革..... | 2 |
|---------|---|

組 織

| | |
|----------------|----|
| 機構図..... | 10 |
| 歴代学長..... | 12 |
| 役員会..... | 13 |
| 学長選考会議委員..... | 13 |
| 経営協議会委員..... | 13 |
| 教育研究評議会委員..... | 13 |
| 役職員..... | 14 |
| 役員・職員数..... | 16 |

教育研究等

学部

| | |
|------------|----|
| 教育学部..... | 17 |
| 経済学部..... | 17 |
| 医学部..... | 17 |
| 歯学部..... | 17 |
| 薬学部..... | 17 |
| 工学部..... | 17 |
| 環境科学部..... | 17 |
| 水産学部..... | 17 |

大学院

| | |
|-------------------|----|
| 教育学研究科..... | 17 |
| 経済学研究科..... | 17 |
| 工学研究科..... | 18 |
| 水産・環境科学総合研究科..... | 18 |
| 生産科学研究科..... | 18 |
| 医歯薬学総合研究科..... | 18 |
| 国際健康開発研究科..... | 18 |
| 学年暦..... | 18 |

附属施設等

| | |
|-----------------------|----|
| 附置研究所 熱帯医学研究所..... | 19 |
| 附置研究所 原爆後障害医療研究所..... | 19 |
| 附属図書館..... | 19 |
| 病院..... | 20 |
| 教育学部附属学校・園..... | 22 |

| | |
|------------------|----|
| 学部等附属教育研究施設..... | 23 |
| 保健・医療推進センター..... | 23 |
| 学内共同教育研究施設等..... | 23 |

特色ある教育・研究

| | |
|-------------|----|
| 特色ある研究..... | 24 |
| 特色ある教育..... | 25 |

学生数等

| | |
|---------------------------|----|
| 学生数..... | 27 |
| 平成25年度入学者状況..... | 29 |
| 平成24年度卒業生（修了者）及び進路状況..... | 30 |
| 過去5年間の進路状況の推移..... | 31 |
| 学位授与数..... | 32 |

国際交流

| | |
|-------------------------------------|----|
| 平成25年度外国人留学生..... | 33 |
| 海外の大学等との学术交流協定締結状況..... | 34 |
| 教員の海外渡航及び 外国人研究者受入数（平成24年度）..... | 38 |

社会貢献

| | |
|----------------|----|
| 産学官連携戦略本部..... | 39 |
| 産学連携..... | 40 |

財 政

| | |
|----------------|----|
| 平成25年度予算額..... | 41 |
| 外部資金等..... | 41 |

キャンパス

| | |
|-----------------|----|
| 長崎大学地区別配置図..... | 42 |
| 厚生補導施設等..... | 46 |
| 土地・建物・船舶..... | 47 |
| 部局等所在地一覧..... | 49 |
| 長崎大学位置図..... | 51 |



沿革

安政4（1857）年11月12日，オランダ軍医ボンベ・ファン・メールデルフォールトが，幕府医官松本良順をはじめとする12名に対し，オランダ語による医学講義を開始した。この医学部の起源である医学伝習所の設置が長崎大学の創基である。

| | | | |
|--------------------|---|------------------|--|
| 安政4 .11 (1857年) | ・医学伝習所設置 | 11 .1 (1878年) | ・長崎病院医学場を長崎医学校と改称 |
| 萬延元 (1860年) | ・市民対象の病院機能，化学・薬剤，図書館，解剖施設，臨床実習機能を完備した養生所を開設（医学部・歯学部附属病院の起源） | 2 | ・官立長崎師範学校廃止。建物及び備品は長崎県に移管 |
| 文久元 .9 (1861年) | ・養生所を拡充して医学所を養生所横に併置（医学教育機関としての整備が完了） | 6 | ・崎陽師範学校を長崎師範学校と改称 |
| 慶応元 (1865年) | ・養生所を精得館と改称。10月，物理・化学などの基礎科学教育機関である分析窮理所を設置 | 12 .1 (1879年) | ・長崎医学校を県立とし，長崎病院を医学校附属に代用 |
| 明治元 .10 (1868年) | ・精得館を長崎府医学校と改称 | 16 (1883年) | ・文部省令医学校通則に基づいて，長崎医学校は甲種医学校（卒業後無試験で医師免許を授与。全国で13校）に指定される |
| 2 (1869年) | ・長崎県病院医学校 | 17 .6 (1884年) | ・長崎県女子師範学校設置 |
| 4 .10 (1871年) | ・長崎県病院医学校が文部省所管となり，長崎医学校と改称 | 19 .4 (1886年) | ・長崎県女子師範学校が長崎師範学校女子部となる |
| 7 (1874年) | ・台湾出兵により，長崎医学校廃止。病院は藩地事務支局病院となる | 6 | ・長崎師範学校女子部に附属幼稚園を設置 |
| 2 | ・官立長崎師範学校設置 | 6 | ・師範学校令が公布され，長崎師範学校は長崎県尋常師範学校と改称 |
| 3 | ・長崎県小学教則講習所設置 | 20 .8 (1887年) | ・中学校令に基づいて第五高等中学校医学部を設置。9月，長崎医学校は廃止 |
| 8 (1875年) | ・台湾出兵終了により，藩地事務支局病院の建物等が長崎県に復帰。政府補助のもと長崎病院を設置 | 23 .6 (1890年) | ・第五高等中学校医学部に薬学科を設置（薬学部の起源） |
| 2 | ・長崎県小学教則講習所を養成所と改称 | 24 .9 (1891年) | ・西彼杵郡浦上山里村に第五高等中学校医学部，同薬学科が新築移転（坂本キャンパスの設置起源） |
| 11 | ・官立長崎師範学校附属小学校開設 | 27 .9 (1894年) | ・高等学校令に基づいて第五高等中学校医学部は第五高等学校医学部及び同薬学科と改称 |
| 9 .1 (1876年) | ・養成所を小学教師養成所と改称 | 31 .4 (1898年) | ・師範教育令に基づいて，長崎県尋常師範学校は長崎県師範学校と改称 |
| 5 | ・小学教師養成所を長崎県公立師範学校と改称 | 34 .3 (1901年) | ・専門学校令に基づいて，第五高等学校医学部は第五高等学校から分離独立し長崎医学専門学校及び同薬学科を設置 |
| 6 | ・長崎病院内に医学場を開設し，医学教育機関が再開 | | |
| 10 .4 (1877年) | ・長崎県公立師範学校を崎陽師範学校と改称 | | |

| | | | |
|--------------------|--|------------------|--|
| 36 (1903年) | ・長崎県立長崎病院に附属看護婦養成所を設置 | 14 .5 (1939年) | ・長崎医科大学に臨時附属医学専門部設置 |
| 38 .3 (1905年) | ・長崎高等商業学校を設置（経済学部，片淵キャンパスの起源） | 17 .3 (1942年) | ・長崎県青年学校教員養成所女子部を諫早高等女学校内に開設 |
| 41 .4 (1908年) | ・長崎県師範学校女子部が長崎県女子師範学校として分離独立 | 4 | ・長崎医科大学附属東亜風土病研究所設置（熱帯医学研究所の起源） |
| 大正 6 .5 (1917年) | ・長崎高等商業学校に海外貿易科を設置 | 9 | ・長崎高等商業学校研究館を大東亜経済研究所と改称 |
| 9 .11 (1920年) | ・長崎高等商業学校に研究館が寄附される（現在の瓊林会館） | 18 .4 (1943年) | ・師範教育令改正に基づいて，長崎県師範学校・長崎県女子師範学校が統合されて官立長崎師範学校となり，専門学校水準に昇格 |
| 10 (1921年) | ・長崎県実業補習学校教員養成所を諫早町に設置 | 19 .3 (1944年) | ・長崎高等商業学校を長崎経済専門学校に改称 |
| 11 .4 (1922年) | ・長崎県より長崎病院が国に寄附され，これを長崎医学専門学校附属医院とする | 4 | ・長崎経済専門学校に長崎工業経営専門学校を併設 |
| | ・附属医院に助産婦及看護婦養成所を設置 | | ・師範教育令改正に基づいて，長崎県青年学校教員養成所（男子部・女子部）は官立長崎青年師範学校となり，専門学校水準に昇格，長崎県青年学校教員養成所水産科は廃止 |
| 12 .3 (1923年) | ・官立医科大学官制によって長崎医学専門学校は長崎医科大学に昇格し，附属医学専門部及び附属薬学専門部を併置 | | ・長崎医科大学の臨時附属医学専門部を附属医学専門部に改称 |
| | ・長崎医学専門学校附属医院は長崎医科大学附属医院となり，助産婦及看護婦養成所を併置 | | ・長崎医科大学附属医院産婆看護婦養成所を厚生女学部へ改称 |
| 14 .4 (1925年) | ・長崎医科大学附属医学専門部廃止 | 20 .6 (1945年) | ・長崎市に原爆投下 |
| 昭和 3 (1928年) | ・長崎県実業補習学校教員養成所に水産科新設（水産学部の起源） | 8 | 長崎医科大学（附属医学専門部，附属薬学専門部を含む）897名，長崎師範学校54名，長崎高等商業学校27名，長崎青年師範学校1名の計979名の学生，教職員が犠牲となる |
| 4 .2 (1929年) | ・長崎医科大学附属医院助産婦及看護婦養成所を産婆看護婦養成所に改称 | | |
| 3 | ・長崎高等商業学校に貿易別科設置 | | |
| 12 | ・長崎医科大学附属野母臨海実験所落成 | | |
| 10 .4 (1935年) | ・長崎県実業補習学校教員養成所を長崎県立青年学校教員養成所と改称 | | |
| 12 .4 (1937年) | ・長崎県師範学校，西彼杵郡西浦上村に新築移転（現在の附属小・中学校敷地） | | |

・原爆被災後の復興の歴史は次のとおりです。

| | | | |
|--------------------|--|------------------|-----------------------------------|
| 21 .4 (1946年) | ・長崎工業経営専門学校廃止。大東亜経済研究所を産業経営研究所と改称 | 29 .4 (1954年) | ・長崎大学大村分校を長崎大学分校と改称 |
| | ・長崎医科大学附属東亜風土病研究所，同風土病研究所と改称 | | ・経済学部を経済学専攻科設置 |
| 22 .3 (1947年) | ・長崎医科大学附属医学専門部廃止 | 30 .4 (1955年) | ・医学部に講座制施行 |
| 5 | ・長崎高等学校（旧制）設置 | | ・大学院医学研究科設置 |
| 23 .4 (1948年) | ・長崎青年師範学校に水産科再設置 | | ・医学部に附属助産婦学校設置 |
| 24 .5 (1949年) | ・国立学校設置法（昭和24年法律第150号）により，旧制の長崎医科大学，長崎医科大学附属薬学専門部，長崎経済専門学校，長崎師範学校，長崎青年師範学校，長崎高等学校を包括し，学芸学部（甲類・小学校教員養成科，中学校高等学校教員養成科，乙類・小学校教員養成科，中学校高等学校教員養成科），経済学部（経済学科，商学科），医学部（医学科），薬学部（薬学科），水産学部（漁業学科，水産製造学科，水産増殖学科）の5学部を置き，風土病研究所が附置され，学部附属の学校又は教育施設として，学芸学部が小学校，中学校，幼稚園，医学部に病院，病院分院，看護婦養成施設を持つ新制長崎大学を設置 | 31 .1 (1956年) | ・補導部を学生部と改称 |
| | | 4 | ・薬学部を薬学専攻科設置 |
| | | 35 .3 (1960年) | ・長崎医科大学廃止 |
| | | 4 | ・水産学部を水産専攻科設置 |
| | | 37 .4 (1962年) | ・医学部に附属原爆後障害医療研究施設設置 |
| | | 39 .4 (1964年) | ・教養部設置（分校廃止） |
| | | | ・水産学部を附属練習船「長崎丸」設置 |
| | | 40 .3 (1965年) | ・薬学専攻科廃止 |
| | | 4 | ・大学院薬学研究科設置 |
| | | | ・学芸学部を学芸専攻科設置 |
| | | 41 .4 (1966年) | ・保健管理センター設置 |
| | | | ・工学部（機械工学科，電気工学科）設置 |
| 昭和25 .3 (1950年) | ・長崎高等学校廃止 | | ・学芸学部を教育学部と改称，これに伴い学芸専攻科を教育専攻科に改称 |
| 5 | ・大村一般教養部，長崎一般教養部を統合して大村分校設置 | | ・教育学部に看護学校教員養成課程設置 |
| | | 42 .4 (1967年) | ・薬学部を製薬化学科設置 |
| 26 .3 (1951年) | ・長崎大学商業短期大学部併設 | | ・工学部に構造工学科設置 |
| | ・医学部附属看護学校設置 | | ・風土病研究所を熱帯医学研究所と改称 |
| | ・長崎医科大学附属薬学専門部，長崎経済専門学校，長崎師範学校，長崎青年師範学校廃止 | 6 | ・水産学部を附属水産実験所設置 |
| | | | ・経済学部を貿易学科設置 |
| 6 | ・厚生補導部を補導部と改称 | 43 .4 (1968年) | ・工学部に土木工学科設置 |
| | ・学芸学部が長崎市大橋町に移転（現在の文教キャンパス） | 44 .4 (1969年) | ・電子計算機室設置 |
| 28 .3 (1953年) | | 12 | |
| 4 | ・水産学部を専攻科（特設専攻科）設置 | | |

| | | | |
|------------------|---|------------------|--|
| 45 .4 (1970年) | <ul style="list-style-type: none"> ・水産専攻科改廃止（漁業専攻中の特設専攻科を遠洋漁業専攻と改称し、漁業専攻、水産製造専攻、水産増殖専攻は廃止） ・大学院水産学研究科設置 ・工学部に材料工学科設置 | 51 .4 (1976年) | <ul style="list-style-type: none"> ・工学部に電子工学科設置 ・大学院工学研究科設置 ・九州地区国立大学島原共同研修センター設置 |
| 46 .2 (1971年) | <ul style="list-style-type: none"> ・附属図書館の整備統合（教育学部分館、薬学部分館、水産学部分館、熱帯医学研究所分館廃止・経済学部分館、医学部分館は従来どおり存置） | 52 .4 (1977年) | <ul style="list-style-type: none"> ・工学研究科に土木工学専攻設置 ・工学専攻科廃止 ・歯学部創設準備室設置 |
| 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・教育学部に附属養護学校設置 ・経済学部商学科を経営学科と改称 ・大学院薬学研究科に製薬化学専攻設置 ・工学部に工学専攻科（機械工学、電気工学、構造工学）設置 | 53 .3 (1978年) | <ul style="list-style-type: none"> ・R Iセンター設置 ・工学部に機械工学第二学科設置 |
| 47 .4 (1972年) | <ul style="list-style-type: none"> ・工学部に工業化学科設置 ・医学部に附属原爆医学資料センター設置 ・薬学部に附属薬用植物園設置 | 54 .4 (1979年) | <ul style="list-style-type: none"> ・熱帯医学研究所に附属熱帯性病原体感染動物実験施設設置 ・附属図書館医学部分館を医学分館と改称 |
| 5 | | 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・情報処理センター設置（電子計算機室廃止） |
| 48 .4 (1973年) | <ul style="list-style-type: none"> ・水産学部の漁業学科、水産製造学科及び水産増殖学科を水産学科に改組 ・工学部工学専攻科に土木工学専攻設置 ・教育学部に附属教育工学センター設置 | 10 | <ul style="list-style-type: none"> ・歯学部歯学科設置 ・歯学部創設準備室廃止 |
| 49 .4 (1974年) | <ul style="list-style-type: none"> ・大学院水産学研究科漁業学専攻、水産製造学専攻及び水産増殖学専攻を水産学専攻に改称 ・工学部工学専攻科に材料工学専攻設置 ・教育学部に幼稚園教員養成課程設置 ・医学部附属原爆医学資料センターを医学部附属原爆被災学術資料センターと改称 ・熱帯医学研究所に附属熱帯医学資料室設置 | 11 | <ul style="list-style-type: none"> ・排水等分析処理センター設置（排水等分析センター廃止） ・医学部に附属動物実験施設設置 ・歯学部に附属病院創設準備室設置 |
| 50 .4 (1975年) | <ul style="list-style-type: none"> ・水産学部に附属練習船「鶴洋丸」設置 ・排水等分析センター設置 | 55 .4 (1980年) | <ul style="list-style-type: none"> ・工学研究科に電子工学専攻設置 ・歯学部附属病院設置 ・歯学部附属病院創設準備室廃止 |
| 6 | | 56 .4 (1981年) | <ul style="list-style-type: none"> ・商業短期大学部商経学科の専攻課程を2専攻課程から3専攻課程（経済専攻、経済法学専攻、経営情報専攻）に改組 |
| | | 57 .4 (1982年) | <ul style="list-style-type: none"> ・工学研究科に機械工学第二専攻設置 ・医療技術短期大学部創設準備室設置 ・国際交流会館設置 |
| | | 58 .4 (1983年) | |

| | | | |
|------------------|--|-------------------|---|
| 59 .4 (1984年) | <ul style="list-style-type: none"> ・医療技術短期大学部（看護学科）併設 ・医療技術短期大学部創設準備室廃止 | 平成元 .5 (1989年) | <ul style="list-style-type: none"> ・熱帯医学研究所を全国共同利用の研究所に改組 |
| 10 | <ul style="list-style-type: none"> ・商業短期大学部を商科短期大学部と改称 ・水産学部水産学科18講座を6大講座に改組 | 2 .4 (1990年) | <ul style="list-style-type: none"> ・工学部機械工学科及び機械工学第二学科を機械システム工学科に改組 |
| 61 .4 (1986年) | <ul style="list-style-type: none"> ・医療技術短期大学部に理学療法学科及び作業療法学科設置 ・医学部附属看護学校廃止 ・大学院歯学研究科設置 ・薬学研究科に医療薬科学専攻（博士課程前・後期）設置（薬学専攻及び製薬化学専攻を改組） ・薬学部の薬学科及び製薬化学科を薬科学科に改組 ・教育学部に附属教育実践研究指導センター設置（附属教育工学センター廃止） | 6 | <ul style="list-style-type: none"> ・6地域共同研究センター設置 |
| 6 | <ul style="list-style-type: none"> ・計測・分析センター設置 ・外国人留学生指導センター設置 | 3 .4 (1991年) | <ul style="list-style-type: none"> ・経済学部経済学科8学科目を3大学科目に、経営学科8学科目を2大学科目に、貿易学科6学科目をファイナンス学科2大学科目に改組、2共通学科目を廃止 |
| 9 | <ul style="list-style-type: none"> ・環境保全センター設置（排水等分析処理センター廃止） | 4 .4 (1992年) | <ul style="list-style-type: none"> ・工学部構造工学科4講座を2大講座に、土木工学科4講座を社会開発工学科2大講座に、材料工学科4講座を2大講座に、工業化学科4講座を応用化学科2大講座に改組 ・アイソトープ総合センター設置（R Iセンター廃止） |
| 62 .4 (1987年) | <ul style="list-style-type: none"> ・医学部附属助産婦学校廃止 ・工学研究科に海洋生産開発学専攻（後期3年博士課程）設置 ・医療技術短期大学部に専攻科（助産学特別専攻）設置 | 5 .4 (1993年) | <ul style="list-style-type: none"> ・大学院工学研究科電気工学専攻及び電子工学専攻を電気情報工学専攻と改称 |
| 63 .4 (1988年) | <ul style="list-style-type: none"> ・大学院海洋生産科学研究科（後期3年博士課程）設置 ・大学院工学研究科海洋生産開発学専攻は、海洋生産科学研究科へ移行 ・工学部電気工学科及び電子工学科を電気情報工学科に改組 ・総合情報処理センター設置（情報処理センター廃止） | 6 .4 (1994年) | <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習教育研究センター設置 ・大学院教育学研究科設置 ・教育専攻科廃止 ・大学院工学研究科機械工学専攻及び機械工学第二専攻を機械システム工学専攻と改称 |
| | | 6 | <ul style="list-style-type: none"> ・熱帯医学研究所10部門を3大部門に改組 |
| | | 7 .4 (1995年) | <ul style="list-style-type: none"> ・大学院経済学研究科設置 ・経済学専攻科廃止 ・大学院工学研究科土木工学専攻を社会開発工学専攻に、工業化学専攻を応用化学専攻に改称 |
| | | 8 .5 (1996年) | <ul style="list-style-type: none"> ・留学生センター設置（外国人留学生指導センター廃止） |
| | | 9 .4 (1997年) | <ul style="list-style-type: none"> ・医学部に附属原爆後障害医療研究施設設置（附属原爆後障害医療研究施設及び附属原爆被災学術資料センター廃止） |

| | | | |
|------------------|--|------------------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・水産学部に附属海洋資源教育研究センター設置（附属水産実験所廃止） ・熱帯医学研究所に附属熱帯病資料情報センター設置（附属熱帯医学資料室廃止） | 13 .4 (2001年) | <ul style="list-style-type: none"> ・大学院生産科学研究科海洋生産開発学専攻及び海洋資源学専攻を海洋生産科学専攻及び物質科学専攻に改組 |
| 10 | <ul style="list-style-type: none"> ・環境科学部（環境科学科）設置 ・教養部廃止 ・経済学部経済学科，経営学科及びファイナンス学科を総合経済学科に改組（昼夜開講制の実施） | 10 | <ul style="list-style-type: none"> ・教育学部に附属教育実践総合センター設置（附属教育実践研究指導センター廃止） ・熱帯医学研究所に附属熱帯感染症研究センター設置（附属熱帯病資料情報センター廃止） ・医学部医学科の31小講座，1大講座を6大講座に改組 |
| 10 .4 (1998年) | <ul style="list-style-type: none"> ・教育学部小学校教員養成課程，中学校教員養成課程，養護学校教員養成課程及び幼稚園教員養成課程を学校教育教員養成課程及び情報文化教育課程に改組 ・大学院教育学研究科教科教育専攻に保健体育専修及び家政教育専修設置 ・工学部電気情報工学科を電気電子工学科及び情報システム工学科に改組 ・機器分析センター設置（計測・分析センター廃止） | 14 .4 (2002年) | <ul style="list-style-type: none"> ・医学部に保健学科設置 ・大学院環境科学研究科設置 ・大学院医歯薬学総合研究科設置 ・大学教育機能開発センター設置 ・アドミッションセンター設置 |
| 11 .4 (1999年) | <ul style="list-style-type: none"> ・大学院薬学研究科に臨床薬学専攻（独立専攻）を設置し，医療薬科学専攻を薬科学専攻に改称 ・副学長の設置（学生部長の廃止） ・事務局及び学生部の事務局一元化に伴い，学務部設置（学生部の廃止） | 15 .4 (2003年) | <ul style="list-style-type: none"> ・医学部医学科の6大講座を4大学科目に改組 ・歯学部歯学科の18小講座を3大学科目に改組 ・薬学部薬科学科の4大講座を2大学科目に改組 |
| 12 .4 (2000年) | <ul style="list-style-type: none"> ・大学院教育学研究科教科教育専攻に社会科学教育専修及び理科教育専修設置 ・大学院医学研究科に新興感染症病態制御学系専攻（独立専攻）設置 ・大学院生産科学研究科（区分制博士課程）設置 ・遺伝子実験施設設置 ・長崎大学商科短期大学部（併設）廃止 | 16 .4 (2004年) | <ul style="list-style-type: none"> ・大学院医歯薬学総合研究科に附属原爆後障害医療研究施設及び附属薬用植物園設置（学部附属施設から研究科附属施設へ移行） ・先導生命科学支援センター設置（アイソトープ総合センター，遺伝子実験施設及び医学部附属動物実験施設の廃止） ・医学部・歯学部附属病院設置（医学部附属病院及び歯学部附属病院の統合） ・国立大学法人法（平成15年法律第112号）により，国立大学法人長崎大学が長崎大学を設置 ・大学院経済学研究科に経営意思決定専攻（博士後期課程）設置 |

| | | | |
|-----------------------|---|------------------------|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・大学院生産科学研究科に環境共生政策学専攻及び環境保全設計学専攻（博士前期課程）並びに環境科学専攻（博士後期課程）設置 ・水産学部の水産専攻科廃止 ・知的財産本部設置 | | <ul style="list-style-type: none"> ・熱帯医学研究所に附属アジア・アフリカ感染症研究施設及び附属熱帯医学ミュージアム設置（附属熱帯感染症研究センター廃止） ・保健管理センターを保健・医療推進センターに改組 |
| 12 | <ul style="list-style-type: none"> ・情報メディア基盤センター設置（総合情報処理センターの廃止） ・共同研究交流センター設置（地域共同研究センター，機器分析センター及び環境保全センターの廃止） | 21 .4 (2009年) 10 | <ul style="list-style-type: none"> ・医学部・歯学部附属病院を病院に改組 ・男女共同参画推進センター設置（時限設置） |
| 17 .4 (2005年) | <ul style="list-style-type: none"> ・計画・評価本部設置 ・国際連携研究戦略本部設置 ・環東シナ海海洋環境資源研究センター設置（水産学部附属海洋資源教育研究センターの廃止） ・心の教育総合支援センター設置（時限設置） ・長崎大学医療技術短期大学部（併設）廃止 | 22 .4 (2010年) | <ul style="list-style-type: none"> ・大学院医歯薬学総合研究科に生命薬科学専攻（修士課程）設置 ・広報戦略本部設置 ・国際連携研究戦略本部東京オフィス設置 ・先端計算研究センター設置 |
| 18 .2 (2006年) 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・大学院海洋生産科学研究科廃止 ・大学院医歯薬学総合研究科に熱帯医学専攻（修士課程）及び保健学専攻（修士課程）設置 ・薬学部薬科学科を6年制課程の薬学科及び4年制課程の薬科学科に改組 | 11 | <ul style="list-style-type: none"> ・国際連携研究戦略本部東京オフィスを長崎大学東京事務所に改組 ・工学部7学科（機械システム工学科，電気電子工学科，情報システム工学科，構造工学科，社会開発工学科，材料工学科及び応用化学科）を1学科（工学科）に改組 ・大学院工学研究科及び大学院水産・環境科学総合研究科設置（大学院生産科学研究科を改組） ・熱帯医学研究所3部門を4部門（病原体解析，宿主病態解析，環境医学，臨床研究）に改組 |
| 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・大学院歯学研究科廃止 | 23 .4 (2011年) | <ul style="list-style-type: none"> ・環東シナ海海洋環境資源研究センターを大学院水産・環境科学総合研究科附属環東シナ海環境資源研究センターに改組 ・心の教育総合支援センターの廃止 |
| 7 | <ul style="list-style-type: none"> ・産学官連携機構設置 | | |
| 19 .2 (2007年) 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・大学院薬学研究科廃止 ・大学院環境科学研究科廃止 | 6 | <ul style="list-style-type: none"> ・産学官連携戦略本部設置（知的財産本部，共同研究交流センター及び生涯学習教育研究センターの廃止） |
| 20 .4 (2008年) | <ul style="list-style-type: none"> ・教育学部学校教育教員養成課程及び情報文化教育課程の2課程を学校教育教員養成課程の1課程に改組 ・大学院教育学研究科に教科実践専攻（修士課程）及び教職実践専攻（専門職学位課程）設置 ・大学院国際健康開発研究科設置 | 12 | <ul style="list-style-type: none"> ・研究推進戦略室設置 ・先端創薬イノベーションセンター設置 ・大学院医歯薬学総合研究科に生命薬科学専攻（博士前期・後期）設置 |
| | | 24 .1 (2012年) 4 | |

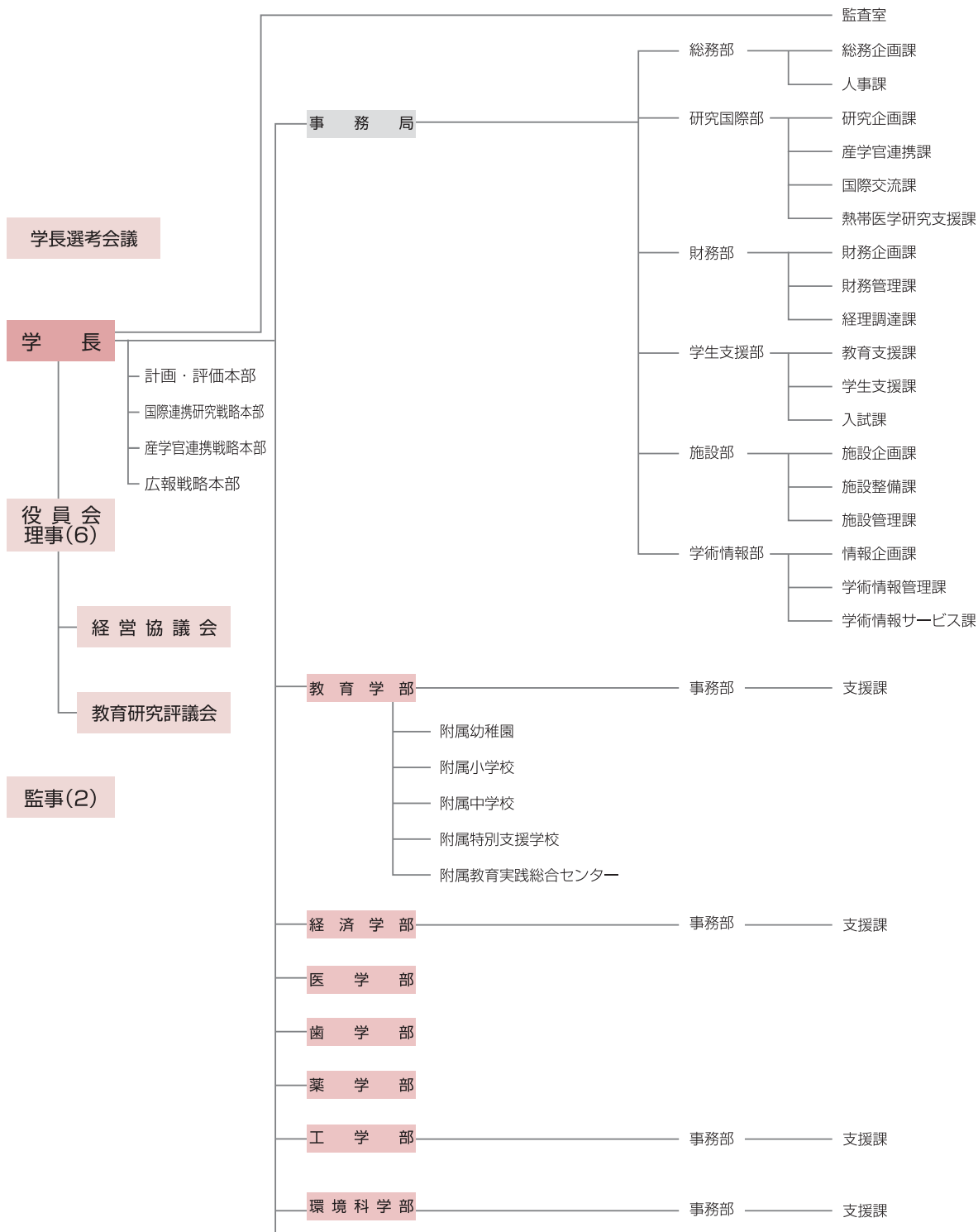
| | |
|------------------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学院医学研究科廃止 ・ 言語教育研究センター設置 ・ 核兵器廃絶研究センター設置 |
| 12 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域教育連携・支援センター設置 |
| 25 .4 (2013年) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 原爆後障害医療研究所設置（大学院医歯薬学総合研究科附属原爆後障害医療研究施設を改組） |

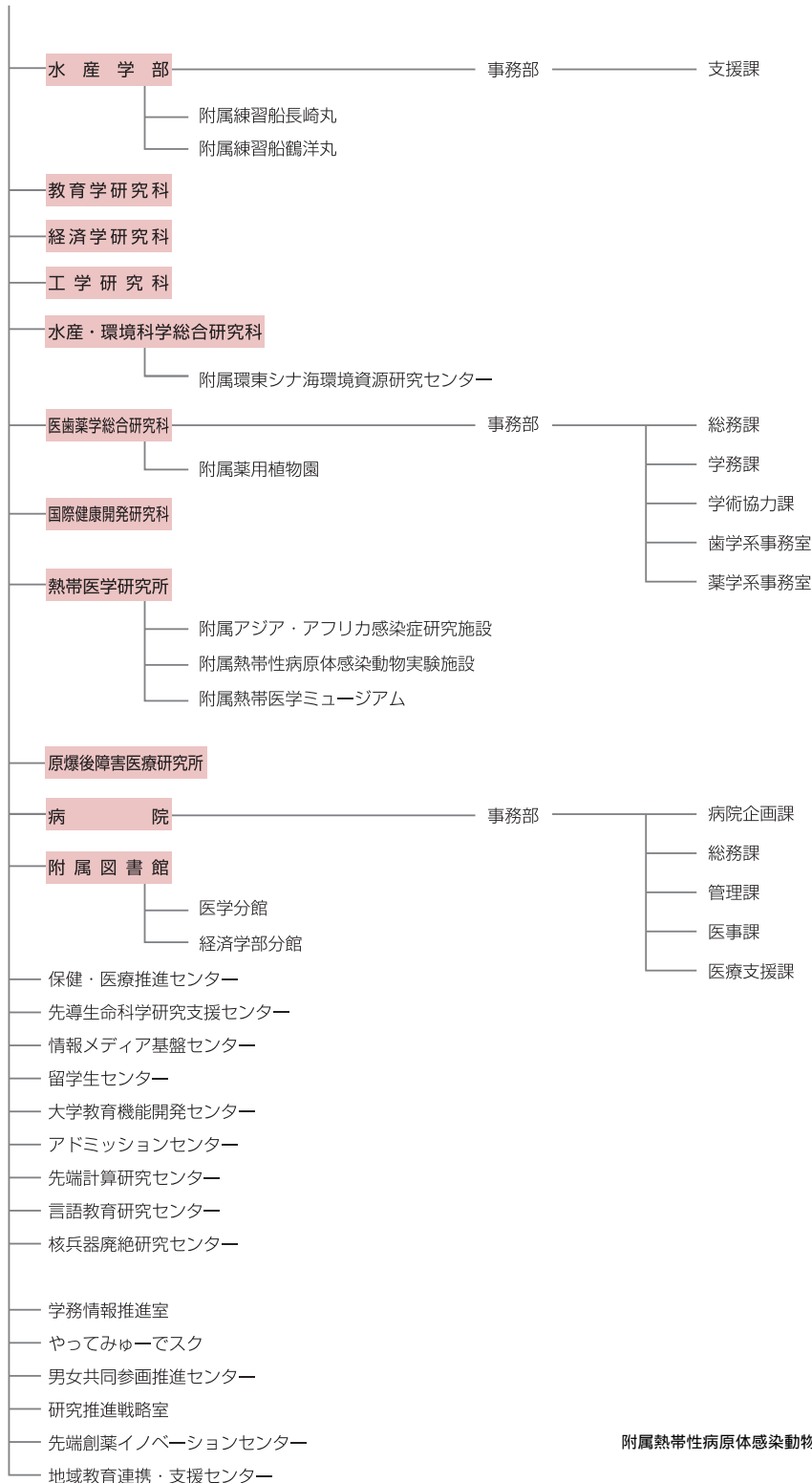


組織

機構図

2013.5.1





附属熱帯性病原体感染動物実験施設は2013年6月末に廃止予定



歴代学長

| | | |
|--------|--------|------------------------------|
| 初代 | 高瀬 清 | (任期：昭和24年6月29日～昭和27年6月5日) |
| (事務取扱) | 池田 晋吾 | (任期：昭和27年6月6日～昭和27年11月17日) |
| 第2代 | 古屋野 宏平 | (任期：昭和27年11月18日～昭和33年11月17日) |
| 第3代 | 北村 精一 | (任期：昭和33年11月18日～昭和37年11月17日) |
| 第4代 | 和泉 成之 | (任期：昭和37年11月18日～昭和41年11月17日) |
| 第5代 | 後藤 敏郎 | (任期：昭和41年11月18日～昭和44年4月3日) |
| (事務取扱) | 栗原 道徳 | (任期：昭和44年4月4日～昭和44年5月6日) |
| 第6代 | 中塚 正行 | (任期：昭和44年5月7日～昭和49年7月31日) |
| (事務取扱) | 保田 正人 | (任期：昭和49年8月1日～昭和49年10月10日) |
| 第7代 | 具島 兼三郎 | (任期：昭和49年10月11日～昭和55年10月10日) |
| 第8代 | 福見 秀雄 | (任期：昭和55年10月11日～昭和59年10月10日) |
| 第9代 | 保田 正人 | (任期：昭和59年10月11日～昭和63年10月10日) |
| 第10代 | 土山 秀夫 | (任期：昭和63年10月11日～平成4年10月10日) |
| 第11代 | 横山 哲夫 | (任期：平成4年10月11日～平成10年10月10日) |
| 第12代 | 池田 高良 | (任期：平成10年10月11日～平成14年10月10日) |
| 第13代 | 齋藤 寛 | (任期：平成14年10月11日～平成20年10月10日) |
| 第14代 | 片峰 茂 | (任期：平成20年10月11日～現在) |

| 役員会 | | | | 2013 .4 .1 |
|-----|-------|-------------|-------|----------------|
| 議長 | 片峰 茂 | 学長 | 調 漸 | 理事（研究・社会貢献担当） |
| | 山崎 裕史 | 理事（総務・財務担当） | 山下 俊一 | 理事（国際・附置研究所担当） |
| | 福永 博俊 | 理事（人事担当） | 河野 茂 | 理事（病院担当） |
| | 佐久間 正 | 理事（教学担当） | | |

| 学長選考会議委員 | | | | 2013 .4 26 |
|----------|-------|--------------------|-------|-------------------|
| 議長 | 矢野 右人 | 国立病院機構長崎医療センター名誉院長 | 石松 隆和 | 工学研究科長 |
| | 福永 博俊 | 理事 | 小路 武彦 | 医歯薬学総合研究科長 |
| | 調 漸 | 理事 | 崎元 達郎 | 放送大学熊本学習センター所長 |
| | 山路 裕昭 | 教育学部長 | 中村 法道 | 長崎県知事 |
| | 下川 功 | 医学部長 | 宮崎 芳之 | 瓊浦高等学校校長 |
| | 中山 守雄 | 薬学部長 | 宮脇 雅俊 | (株)十八銀行代表執行役頭取 |
| | 田井村明博 | 環境科学部長 | 森岡 公隆 | 三菱重工業(株)長崎造船所所長代理 |

| 経営協議会委員 | | | | 2013 .4 .1 |
|---------|-------|------------|-------|-----------------------|
| 議長 | 片峰 茂 | 学長 | 安西祐一郎 | 独立行政法人日本学術振興会理事長 |
| | 山崎 裕史 | 理事 | 池上 清子 | 日本大学大学院教授 |
| | 佐久間 正 | 理事 | 崎元 達郎 | 放送大学熊本学習センター所長 |
| | 河野 茂 | 理事 | 潮谷 義子 | 熊本スペシャルオリンピックス理事長 |
| | 山路 裕昭 | 教育学部長 | 杉田 亮毅 | (公社)日本経済研究センター代表理事・会長 |
| | 岡田 裕正 | 経済学部長 | 中村 法道 | 長崎県知事 |
| | 下川 功 | 医学部長 | 宮崎 芳之 | 瓊浦高等学校校長 |
| | 田井村明博 | 環境科学部長 | 宮脇 雅俊 | (株)十八銀行取締役代表執行役頭取 |
| | 石松 隆和 | 工学研究科長 | 森岡 公隆 | 三菱重工業(株)長崎造船所所長代理 |
| | 小路 武彦 | 医歯薬学総合研究科長 | 矢野 右人 | 国立病院機構長崎医療センター名誉院長 |

| 教育研究評議会委員 | | | | 2013 .4 .1 |
|-----------|-------|--------|-------|---------------|
| 議長 | 片峰 茂 | 学長 | 橘 勝康 | 水産学部長 |
| | 福永 博俊 | 理事 | 石松 隆和 | 工学研究科長 |
| | 佐久間 正 | 理事 | 早瀬 隆司 | 水産・環境科学総合研究科長 |
| | 調 漸 | 理事 | 小路 武彦 | 医歯薬学総合研究科長 |
| | 山下 俊一 | 理事 | 青木 克己 | 国際健康開発研究科長 |
| | 河野 茂 | 理事・病院長 | 森田 公一 | 熱帯医学研究所長 |
| | 山路 裕昭 | 教育学部長 | 永山 雄二 | 原爆後障害医療研究所長 |
| | 岡田 裕正 | 経済学部長 | 森 望 | 附属図書館長 |
| | 下川 功 | 医学部長 | 稲田 俊明 | 言語教育研究センター長 |
| | 中山 浩次 | 歯学部長 | 山崎 裕史 | 事務局長 |
| | 中山 守雄 | 薬学部長 | 松坂 誠應 | 医学部保健学科長 |
| | 田井村明博 | 環境科学部長 | 梅林 宏道 | 核兵器廃絶研究センター長 |



役職員

役員

| | |
|----------------|-------|
| 学長 | 片峰 茂 |
| 理事（総務・財務担当） | 山崎 裕史 |
| 理事（人事担当） | 福永 博俊 |
| 理事（教学担当） | 佐久間 正 |
| 理事（研究・社会貢献担当） | 調 漸 |
| 理事（国際・附置研究所担当） | 山下 俊一 |
| 理事（病院担当） | 河野 茂 |
| 監事 | 福島 昭二 |
| 監事（非常勤） | 里 隆光 |

副学長

| | |
|---------------|-------|
| 認証評価担当 | 福永 博俊 |
| 教務担当 | 佐久間 正 |
| 地域連携担当 | 調 漸 |
| 福島復興担当 | 山下 俊一 |
| グローバル人材育成担当 | 須齋 正幸 |
| 広報担当 | 深尾 典男 |
| 情報担当 | 松田 浩 |
| 学生担当 | 堀内 伊吹 |
| 入試担当 | 星野 由雅 |
| 研究企画担当 | 萩原 篤志 |
| 産学連携、環境・施設担当 | 山下 敬彦 |
| ライフ・イノベーション担当 | 畑山 範 |

学長特別補佐

| | |
|----------|-------|
| 男女共同参画担当 | 大井久美子 |
| 地域教育貢献担当 | 橋本 健夫 |

計画・評価本部

| | |
|-----|------|
| 本部長 | 片峰 茂 |
|-----|------|

国際連携研究戦略本部

| | |
|-----|-------|
| 本部長 | 山下 俊一 |
|-----|-------|

産学官連携戦略本部

| | |
|-----|-------|
| 本部長 | 山下 敬彦 |
|-----|-------|

広報戦略本部

| | |
|-----|-------|
| 本部長 | 深尾 典男 |
|-----|-------|

監査室

| | |
|----|-------|
| 室長 | 浦川 賢治 |
|----|-------|

事務局

| | |
|------------|-------|
| 事務局長 | 山崎 裕史 |
| 総務部長 | 後藤 博明 |
| 総務企画課長 | 小野寺 徹 |
| 人事課長 | 高木 雅弘 |
| 研究国際部長 | 河野 浩 |
| 研究企画課長 | 江藤 直行 |
| 産学官連携課長 | 佐藤 良次 |
| 国際交流課長 | 泉川 正純 |
| 熱帯医学研究支援課長 | 上田 祐介 |
| 財務部長 | 前谷 嘉一 |
| 財務企画課長 | 市川 修 |
| 財務管理課長 | 小門 一則 |
| 経理調達課長 | 森山 良英 |
| 学生支援部長 | 中村 浩之 |
| 教育支援課長 | 河野 美奈 |
| 学生支援課長 | 山野 恵一 |
| 入試課長 | 清川 聖一 |
| 施設部長 | 宮浦 祐一 |
| 施設企画課長 | 森 徳明 |
| 施設整備課長 | 松下 栄司 |
| 施設管理課長 | 松村 勝博 |
| 学術情報部長 | 菅原 親雄 |
| 情報企画課長 | 上野 恒信 |
| 学術情報管理課長 | 徳永 哲郎 |
| 学術情報サービス課長 | 小川 稔 |

学部等

教育学部

| | |
|---------------|-------|
| 教育学部長 | 山路 裕昭 |
| 教育学部支援課長 | 満本 眞一 |
| 附属幼稚園長 | 原田 和幸 |
| 附属小学校長 | 安部 和隆 |
| 附属中学校長 | 風間伸二郎 |
| 附属特別支援学校長 | 穴山 司 |
| 附属教育実践総合センター長 | 佐藤 敬助 |

経済学部

| | |
|----------|-------|
| 経済学部長 | 岡田 裕正 |
| 経済学部支援課長 | 前田 忠一 |

医学部

| | |
|------|------|
| 医学部長 | 下川 功 |
|------|------|

歯学部

| | |
|------|-------|
| 歯学部長 | 中山 浩次 |
|------|-------|

| | |
|--------------|-------|
| 薬学部 | |
| 薬学部長 | 中山 守雄 |
| 工学部 | |
| 工学部長 | 石松 隆和 |
| 工学部支援課長 | 橋田 徹 |
| 環境科学部 | |
| 環境科学部長 | 田井村明博 |
| 環境科学部支援課長 | 中村 修三 |
| 水産学部 | |
| 水産学部長 | 橋 勝康 |
| 水産学部支援課長 | 横山 義則 |
| 附属練習船長崎丸船長 | 兼原 壽生 |
| 附属練習船鶴洋丸船長 | 森井 康宏 |

| | |
|--------------------|-------|
| 大学院 | |
| 教育学研究科長 | 山路 裕昭 |
| 経済学研究科長 | 岡田 裕正 |
| 工学研究科長 | 石松 隆和 |
| 水産・環境科学総合研究科長 | 早瀬 隆司 |
| 附属環東シナ海環境資源研究センター長 | 征矢野 清 |
| 生産科学研究科長 | 石松 隆和 |
| 医歯薬学総合研究科長 | 小路 武彦 |
| 事務部長 | 松林 聰 |
| 総務課長 | 坂口 力 |
| 学務課長 | 濱野 敏郎 |
| 学術協力課長 | 寺原 良二 |
| 歯学系事務室長 | 近藤 廣任 |
| 薬学系事務室長 | 濱本 俊彦 |
| 附属薬用植物園長 | 中山 守雄 |
| 国際健康開発研究科長 | 青木 克己 |

| | |
|--------------------|-------|
| 附置研究所 | |
| 熱帯医学研究所長 | 森田 公一 |
| 附属アジア・アフリカ感染症研究施設長 | 森田 公一 |
| 附属熱帯性病原体感染動物実験施設長 | 濱野真二郎 |
| 附属熱帯医学ミュージアム館長 | 皆川 昇 |
| 原爆後障害医療研究所長 | 永山 雄二 |

| | |
|-----------|-------|
| 病院 | |
| 病院長 | 河野 茂 |
| 事務部長 | 丸野 和年 |
| 病院企画課長 | 砂山 優智 |

| | |
|--------|-------|
| 総務課長 | 大西 文昭 |
| 管理課長 | 山田 弘幸 |
| 医事課長 | 横山 哲也 |
| 医療支援課長 | 浜村 博 |
| 薬剤部長 | 佐々木 均 |
| 看護部長 | 江藤 栄子 |

| | |
|--------------|-------|
| 附属図書館 | |
| 附属図書館長 | 森 望 |
| 医学分館長 | 増崎 英明 |
| 経済学部分館長 | 赤石 孝次 |

| | |
|--------------------|-----|
| 保健・医療推進センター | |
| センター長 | 調 漸 |

| | |
|-------------------|-------|
| 学内共同教育研究施設 | |
| 先導生命科学支援センター長 | 調 漸 |
| 情報メディア基盤センター長 | 松田 浩 |
| 留学生センター長 | 須齋 正幸 |
| 大学教育機能開発センター長 | 佐久間 正 |
| アドミッションセンター長 | 星野 由雅 |
| 先端計算研究センター長 | 畑山 範 |
| 言語教育研究センター長 | 稲田 俊明 |
| 核兵器廃絶研究センター長 | 梅林 宏道 |

| | |
|----------------|-------|
| 学務情報推進室 | |
| 室長 | 佐久間 正 |

| | |
|------------------|-------|
| やってみゅーでスク | |
| デスク長 | 堀内 伊吹 |

| | |
|---------------------|-------|
| 男女共同参画推進センター | |
| センター長 | 大井久美子 |

| | |
|----------------|-----|
| 研究推進戦略室 | |
| 室長 | 調 漸 |

| | |
|------------------------|------|
| 先端創薬イノベーションセンター | |
| センター長 | 畑山 範 |

| | |
|----------------------|-------|
| 地域教育連携・支援センター | |
| センター長 | 橋本 健夫 |

| | |
|---------------------------|-------|
| 九州地区国立大学島原共同研修センター | |
| 所長 | 堀内 伊吹 |

附属熱帯性病原体感染動物実験施設は2013年6月末に廃止予定



役員・職員数

2013.5.1
(人)

| 部局名 | 区分 | 役員 | | | | | | | | | | 計 | その他の職員 | 合計 | | | | | |
|-------------------|----|----|----|-----|-----|--------|----|-----|-----|----|-----|----|--------|----------------|-------|----------------|--------------|-------|--------------|
| | | 学長 | 理事 | 監事 | 副学長 | 学長特別補佐 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | | | 教諭 | | | | |
| 計画・評価本部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 国際連携戦略本部 | | | | | | | | | | 3 | | | | 3 | | | 6 | 9 | 15 |
| 広報戦略本部 | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 1 | 4 | 5 |
| 産学官連携戦略本部 | | | | | | | | | | 3 | 5 | | | 4 | | | 12 | 7 | 19 |
| 監査室 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | 3 |
| 事務局 | | 1 | 6 | (1) | 1 | [12] | 2 | | | | | | | | | | (1)12 210 | 247 | (1)12 257 |
| 教育学部 | | | | | | | | | | 38 | 23 | | | 1 | | | 62 | 11 | 73 |
| 附属幼稚園 | | | | | | | | | | | | | | | | | 7 | 7 | 14 |
| 附属小学校 | | | | | | | | | | | | | | | | | 30 | 30 | 60 |
| 附属中学校 | | | | | | | | | | | | | | | | | 25 | 25 | 50 |
| 附属特別支援学校 | | | | | | | | | | | | | | | | | 30 | 30 | 60 |
| 附属教育実践総合センター | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | 2 | 2 | 4 |
| 経済学部 | | | | | | | | | | 29 | 27 | | 2 | 2 | | | 60 | 17 | 77 |
| 工学部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 11 | 11 |
| 環境科学部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 7 | 7 |
| 水産学部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 11 | 11 |
| 附属練習船長崎丸 | | | | | | | | | | 1 | 2 | | | 3 | | | 6 | 17 | 23 |
| 附属練習船鶴洋丸 | | | | | | | | | | | 2 | | | 1 | | | 3 | 12 | 15 |
| 教育学研究科 | | | | | | | | | | 5 | 4 | | | | | | 9 | 9 | 18 |
| 工学研究科 | | | | | | | | | | 46 | 40 | | 31 | 1 | | | 118 | 39 | 157 |
| 水産・環境科学総合研究科 | | | | | | | | | | 48 | 35 | 1 | 2 | | | | 86 | 86 | 172 |
| 附属環東シナ海環境資源研究センター | | | | | | | | | | 3 | 2 | | 1 | | | | 6 | 6 | 12 |
| 医歯薬学総合研究科 | | | | | | | | | | 94 | 78 | 21 | 147 | | | | 340 | 75 | 415 |
| 附属薬用植物園 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 1 | 1 | 2 |
| 国際健康開発研究科 | | | | | | | | | | 3 | | | 1 | | | | 4 | 4 | 8 |
| 熱帯医学研究所 | | | | | | | | | | 13 | 6 | 3 | 29 | 1 | | | 52 | 3 | 55 |
| 附属アジア・アフリカ感染症研究施設 | | | | | | | | | | 3 | | | 4 | | | | 7 | 1 | 8 |
| 附属熱帯病原体感染動物実験施設 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 附属熱帯医学ミュージアム | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 1 | 2 | 3 |
| 原爆後障害医療研究所 | | | | | | | | | | 7 | 4 | 1 | 18 | | | | 30 | 3 | 33 |
| 病院 | | | | | | | | | | 4 | 12 | 54 | 169 | | | | 239 | 1,192 | 1,431 |
| 保健・医療推進センター | | | | | | | | | | | 4 | | 2 | | | | 6 | 11 | 17 |
| 先導生命科学研究支援センター | | | | | | | | | | 2 | 1 | | 3 | | | | 6 | 5 | 11 |
| 情報メディア基盤センター | | | | | | | | | | 3 | 2 | | 1 | | | | 6 | 6 | 12 |
| 留学生センター | | | | | | | | | | 2 | 4 | | | | | | 6 | 6 | 12 |
| 大学教育機能開発センター | | | | | | | | | | 3 | 1 | | 1 | | | | 5 | 5 | 10 |
| アドミッションセンター | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | | | | 2 | 2 | 4 |
| 先端計算研究センター | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 1 | 1 | 2 |
| 言語教育研究センター | | | | | | | | | | 7 | 1 | 1 | 5 | | | | 14 | 14 | 28 |
| 核兵器廃絶研究センター | | | | | | | | | | 3 | 1 | | | | | | 4 | 4 | 8 |
| 男女共同参画推進センター | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 1 | 1 | 2 |
| 地域教育連携・支援センター | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 1 | 1 | 2 |
| やってみゅーでスク | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| 合計 | | 1 | 6 | (1) | 1 | [12] | 2 | 326 | 259 | 83 | 429 | 2 | 92 | (1)12 1,199 | 1,695 | (1)12 2,894 | | | |

1 監事(1)は、非常勤役員で外数。副学長[12]、学長特別補佐 2 は、教育職員または理事の兼務で内数。

附属熱帯病原体感染動物実験施設は2013年6月末に廃止予定



教育研究等

| 学 部 | | | |
|-----------------------|------------|------------------|------------|
| 学 部 | 学科・課程 | 講 座 | |
| 教育学部 1 課程 6 講座 | 学校教育教員養成課程 | 国際文化 | 数理情報 |
| | | 人間発達 | 初等教育 |
| 経済学部 1 学科 6 講座 | 総合経済学科 | 理論・計量経済 | 地域・経済政策 |
| | | 経済協力・国際コミュニケーション | 金融システム |
| 医学部 2 学科 7 学科目 | 医学科 | 形態・機能・代謝学 | 病態解析医学 |
| | 保健学科 | 社会医学 | 疾患制御医学 |
| 歯学部 1 学科 3 学科目 | 歯学科 | 顎口腔生体科学 | 顎口腔環境科学 |
| | | 顎口腔再生医療科学 | |
| 薬学部 2 学科 4 学科目 | 薬学科 | 基礎薬学 | 医療薬学 |
| | 薬科学科 | 基礎薬科学 | 応用薬科学 |
| 工学部 1 学科 6 コース | 工学科 | 機械工学 | 電気電子工学 |
| | | 情報工学 | 社会環境デザイン工学 |
| 環境科学部 1 学科 2 学系 | 環境科学科 | 構造工学 | 化学・物質工学 |
| | | 人間社会環境 環境保全設計 | |
| 水産学部 1 学科 4 講座 | 水産学科 | 海洋生産システム学 | |
| | | 海洋資源動態科学 | |
| | | 海洋生物機能科学 | |
| | | 海洋物質科学 | |

| 大 学 院 | | |
|--------|--------------|----------|
| 研究科 | 課 程 | 専 攻 |
| 教育学研究科 | 修士課程 | 教科実践専攻 |
| | 専門職学位課程 | 教職実践専攻 |
| 経済学研究科 | 博士課程 (前期) | 経済経営政策専攻 |
| | 博士課程 (後期) | 経営意思決定専攻 |

| 研究科 | 課程 | 専攻 |
|------------------|-----------------|---|
| 工学研究科 | 博士前期課程 | 総合工学専攻 |
| | 博士後期課程 | 生産システム工学専攻 |
| | 博士課程 (5年一貫制) | グリーンシステム創成科学専攻 |
| 水産・環境科学 総合研究科 | 博士課程 (前期) | 水産学専攻 環境共生政策学専攻 環境保全設計学専攻 |
| | 博士課程 (後期) | 環境海洋資源学専攻 |
| | 博士課程 (5年一貫制) | 海洋フィールド生命科学専攻 |
| 生産科学研究科 | 博士前期課程 | 機械システム工学専攻 電気情報工学専攻 環境システム工学専攻 環境共生政策学専攻 |
| | 博士後期課程 | システム科学専攻 海洋生産科学専攻 環境科学専攻 |
| 医歯薬学 総合研究科 | 修士課程 | 熱帯医学専攻 保健学専攻 |
| | 博士課程 | 医療科学専攻 新興感染症病態制御学系専攻 放射線医療科学専攻 |
| | 博士課程 (前期・後期) | 生命薬科学専攻 |
| 国際健康 開発研究科 | 修士課程 | 国際健康開発専攻 |

学年歴

| | | | |
|-----|------------------------|-----|------------------------|
| 4月 | 1日(月) 学年始 | 11月 | 22日(金)~23日(土) 学園祭 |
| | 2日(火) 入学式 | 12月 | 12月28日(土)~1月5日(日) 冬季休業 |
| 5月 | 31日(金) 開学記念日 | 1月 | |
| 6月 | | 2月 | |
| 7月 | | 3月 | 3月21日(金)~4月3日(木) 春季休業 |
| 8月 | 8月12日(月)~9月29日(日) 夏季休業 | | 25日(火) 卒業式 |
| 9月 | 30日(月) 後期授業開始 | | 31日(月) 学年終 |
| 10月 | | | |



附属施設等

附属研究所 熱帯医学研究所

| 研究部門および研究分野 | 総合目標 |
|---|---|
| 病原体解析部門 ウイルス学, 新興感染症学, 細菌学, 原虫学, 寄生虫学, 分子疫学 宿主病態解析部門 免疫遺伝学, 感染生化学, 病理学, エイズ・感染防御 環境医学部門 生態疫学, 国際保健学, 国際健康開発政策学, 病害動物学 臨床研究部門 臨床感染症学, 小児感染症学, 臨床開発学 | 1. 熱帯医学及び国際保健における先導的研究 2. 研究成果の応用による熱帯病の防圧ならびに健康増進への国際貢献 3. 上記に係る研究者と専門家の育成 |

附属研究所 原爆後障害医療研究所

| 研究部門(研究分野) | 目的 |
|---|---|
| 社会医学 健康リスク管理学, 国際保健医療福祉学, 放射線災害医療学 放射線生命科学 幹細胞生物学, 人類遺伝学, 分子医学 原爆・ヒバクシャ医療 血液内科学, 腫瘍・診断病理学, アイソトープ診断治療学 資料収集保存・解析部 資料調査室, 生体材料保存室 | 1. 放射線健康リスク評価とリスクコミュニケーション 2. 放射線影響の基礎研究 3. 被爆者医療 |

附属図書館

蔵書数

2013.4.1

| 館名 | 図書数 | | | 雑誌の種類 | | |
|--------|---------|---------|---------|--------|-------|--------|
| | 和漢書 | 洋書 | 計 | 和文 | 欧文 | 計 |
| 中央図書館 | 425,790 | 133,196 | 558,986 | 11,963 | 3,373 | 15,336 |
| 医学分館 | 83,947 | 75,977 | 159,924 | 3,634 | 3,257 | 6,891 |
| 経済学部分館 | 190,517 | 82,642 | 273,159 | 3,527 | 1,110 | 4,637 |
| 計 | 700,254 | 291,815 | 992,069 | 17,520 | 7,334 | 24,854 |

図書数 = 図書(購入, 寄贈, 消耗品扱いを除く) + 製本雑誌の冊数
 雑誌種類数の3館合計は重複があるため単純合計ではない。

利用状況

2013.3.31

| 館名 | 区分 | 教職員 | 学生 | その他 | 計 |
|--------|------|---------|--------|-------|---------|
| 中央図書館 | 入館者数 | 116,118 | | 0 | 116,118 |
| | 貸出冊数 | 2,464 | 22,384 | 0 | 24,848 |
| 医学分館 | 入館者数 | 115,989 | | 3,946 | 119,935 |
| | 貸出冊数 | 1,667 | 11,976 | 514 | 14,157 |
| 経済学部分館 | 入館者数 | 67,468 | | 1,253 | 68,721 |
| | 貸出冊数 | 1,385 | 10,638 | 308 | 12,331 |
| 計 | 入館者数 | 299,575 | | 5,199 | 304,774 |
| | 貸出冊数 | 5,516 | 44,998 | 822 | 51,336 |

平成24年度中央図書館は改修工事につき、学外者の利用を停止のうえ、開架冊数・閲覧席・閲覧室床面積を縮小して図書館・放送大学合築棟2階にて開館した。

病 院（平成24年度）

診療科別患者数

（人）

| 診療科等名 | 区 分 | 入院患者数 | | 外来患者数 | |
|---------------|-----|---------|---------|---------|---------|
| | | 延患者数 | 1日平均患者数 | 延患者数 | 1日平均患者数 |
| 内分泌・代謝内科 | | 3,413 | 9.4 | 12,258 | 50.0 |
| 消化器内科 | | 21,942 | 60.1 | 18,972 | 77.4 |
| リウマチ・膠原病内科 | | 6,411 | 17.6 | 11,418 | 46.6 |
| 神経内科 | | 4,171 | 11.4 | 6,043 | 24.7 |
| 呼吸器内科 | | 17,936 | 49.1 | 13,280 | 54 |
| 腎臓内科 | | 4,357 | 11.9 | 7,874 | 32.1 |
| 循環器内科 | | 14,994 | 41.1 | 15,634 | 63.8 |
| 血液内科 | | 14,304 | 39.2 | 9,303 | 38.0 |
| 感染症内科 | | 0 | 0.0 | 144 | 0.6 |
| 呼吸器外科 | | 4,455 | 12.2 | 3,028 | 12.4 |
| 消化器外科第一 | | 11,567 | 31.7 | 5,030 | 20.5 |
| 消化器外科第二 | | 15,153 | 41.5 | 6,072 | 24.8 |
| 泌尿器科 | | 11,111 | 30.4 | 17,522 | 71.5 |
| 心臓血管外科 | | 11,160 | 30.6 | 3,819 | 15.6 |
| 乳腺・内分泌外科 | | 3,223 | 8.8 | 7,388 | 30.2 |
| 脳神経外科 | | 11,543 | 31.6 | 8,051 | 32.9 |
| 眼科 | | 10,573 | 29.0 | 18,833 | 76.9 |
| 耳鼻咽喉科 | | 10,614 | 29.1 | 15,711 | 64.1 |
| 皮膚科・アレルギー科 | | 7,643 | 20.9 | 17,866 | 72.9 |
| 形成外科 | | 7,019 | 19.2 | 6,187 | 25.3 |
| 整形外科 | | 13,925 | 38.2 | 15,102 | 61.6 |
| 小児科 | | 13,822 | 37.9 | 15,484 | 63.2 |
| 小児外科 | | 3,508 | 9.6 | 3,481 | 14.2 |
| 産科婦人科 | | 20,098 | 55.1 | 15,888 | 64.8 |
| 精神科神経科 | | 12,901 | 35.3 | 18,378 | 75.0 |
| 放射線科 | | 4,704 | 12.9 | 8,484 | 34.6 |
| 麻酔科 | | 64 | 0.2 | 9,680 | 39.5 |
| 総合診療科 | | 1,860 | 5.1 | 5,177 | 21.1 |
| 国際ヒバクシャ医療センター | | 118 | 0.3 | 708 | 2.9 |
| 救命救急センター | | 12,119 | 33.2 | 8,655 | 35.3 |
| 生活習慣病予防診療部 | | 1 | 0.0 | 3,056 | 12.5 |
| 小 計 | | 274,709 | 752.6 | 308,526 | 1,259.3 |

| 診療科等名 | | 入院患者数 | | 外来患者数 | |
|-------------------------|----------|---------|---------|---------|---------|
| | | 延患者数 | 1日平均患者数 | 延患者数 | 1日平均患者数 |
| 総合歯科 | 予防歯科室 | 0 | 0.0 | 1,594 | 6.5 |
| | 矯正歯科室 | 0 | 0.0 | 8,064 | 32.9 |
| | 小児歯科室 | 0 | 0.0 | 4,427 | 18.1 |
| | 虫歯治療室 | 0 | 0.0 | 12,500 | 51.0 |
| | 歯周病治療室 | 0 | 0.0 | 15,350 | 62.7 |
| | 冠補綴治療室 | 0 | 0.0 | 10,249 | 41.8 |
| | 義歯補綴治療室 | 0 | 0.0 | 11,537 | 47.1 |
| 顎・口腔外科 | 口腔顎顔面外科室 | 4,306 | 11.8 | 11,157 | 45.5 |
| | 顎口腔再生外科室 | 3,625 | 9.9 | 9,885 | 40.3 |
| 診断管理科 | 歯科放射線室 | 0 | 0.0 | 1,606 | 6.6 |
| | 麻酔・生体管理室 | 82 | 0.2 | 1,038 | 4.2 |
| 特殊歯科総合治療部 | | 0 | 0.0 | 5,550 | 22.7 |
| 医療教育開発センター | | 0 | 0.0 | 6,024 | 24.6 |
| 口腔ケア・摂食・嚥下リハビリテーションセンター | | 0 | 0.0 | 7,952 | 33 |
| 口腔・顎・顔面インプラントセンター | | 14 | 0.0 | 3,708 | 15.1 |
| 小計 | | 8,027 | 22.0 | 110,641 | 451.6 |
| 合計 | | 282,736 | 774.6 | 419,167 | 1,710.9 |

入院日数 = 365日，外来診療日数 = 245日，1日平均患者数は小数点第2位を四捨五入し小数点第1位までを記載。

教育学部附属学校・園

2013.5.1(人)

| 区 分 | 学級区分 | 学 年 | | 学 級 数 | 学級定員 | 総 定 員 | 現 員 | |
|-------------------|-----------------|------|---|-------|------|-------|-----|-----|
| 附属幼稚園 | 3 歳児 | 三年保育 | | 1 | 20 | 20 | 24 | |
| | | 二年保育 | | 2 | 40 | | 60 | 36 |
| | 4 歳児 | 三年保育 | | | 2 | 20 | | 60 |
| | | 二年保育 | | 2 | | 40 | 60 | |
| | 5 歳児 | 三年保育 | | | 2 | 20 | | 60 |
| | | 二年保育 | | | | | | |
| | 計 | | | 5 | | 140 | 144 | |
| 附属小学校 | 普通学級 | | 1 | 3 | 30 | 90 | 90 | |
| | | | 2 | 3 | 30 | 90 | 90 | |
| | | | 3 | 3 | 30 | 90 | 85 | |
| | | | 4 | 3 | 30 | 90 | 87 | |
| | | | 5 | 3 | 30 | 90 | 89 | |
| | | | 6 | 3 | 35 | 105 | 104 | |
| | 複式学級 | | 1 | | 1 | 16 | 16 | 8 |
| | | | 2 | | | | | 8 |
| | | | 3 | | | | | 8 |
| | | | 4 | | 1 | 16 | 16 | 8 |
| | | | 5 | | | | | 8 |
| | | | 6 | | 1 | 16 | 16 | 8 |
| | 計 | | | 21 | | 678 | 610 | |
| 附属中学校 | 普通学級 | | 1 | 4 | 35 | 140 | 142 | |
| | | | 2 | 4 | 35 | 140 | 142 | |
| | | | 3 | 4 | 35 | 140 | 143 | |
| | | 計 | | | 12 | | 420 | 427 |
| 附属 特別支援 学 校 | 普通学級 (2学年複式) | 小学部 | 1 | | 1 | 6 | 18 | 3 |
| | | | 2 | | | | | 1 |
| | | | 3 | | 1 | 6 | | 3 |
| | | | 4 | | 1 | 6 | | 2 |
| | | | 5 | | | | | 2 |
| | | | 6 | | 1 | 6 | | 3 |
| | 普通学級 | 中学部 | 1 | | 1 | 6 | 18 | 5 |
| | | | 2 | | 1 | 6 | 6 | |
| | | | 3 | | 1 | 6 | 6 | |
| | 普通学級 | 高等部 | 1 | | 1 | 8 | 24 | 8 |
| | | | 2 | | 1 | 8 | | 8 |
| | | | 3 | | 1 | 8 | | 8 |
| | | 計 | | | 9 | | 60 | 55 |

学部等附属教育研究施設

| |
|-------------------|
| 教育学部 |
| 附属教育実践総合センター |
| 水産学部 |
| 附属練習船長崎丸 |
| 附属練習船鶴洋丸 |
| 熱帯医学研究所 |
| 附属アジア・アフリカ感染症研究施設 |
| 附属熱帯性病原体感染動物実験施設 |
| 附属熱帯医学ミュージアム |

| |
|-------------------|
| 水産・環境科学総合研究科 |
| 附属環東シナ海環境資源研究センター |
| 医歯薬学総合研究科 |
| 附属薬用植物園 |

附属熱帯性病原体感染動物実験施設は2013年6月末に廃止予定

保健・医療推進センター

2013.5.1(人)

| 職員(数) | センター長 | 教授 | 准教授 | 助教 | 保健師 | カウンセラー | 事務員 | 計 | 学校医 | | | | |
|-------|-------|-----|-----|----|-----|--------|-----|-----------|-----|-----|-------|----|----|
| | | | | | | | | | 内科 | 皮膚科 | 産科婦人科 | 眼科 | 歯科 |
| | [1] | [1] | 4 | 2 | 3 | 6 | 2 | 17 [2] | 4 | 1 | 1 | 1 | 1 |

備考 保健・医療推進センター(相談日)...毎日
坂本分室(相談日).....月曜日・金曜日
(注)[]は併任を示し外数

学内共同教育研究施設等

| |
|----------------|
| 先導生命科学研究支援センター |
| アイソトープ実験施設 |
| 動物実験施設 |
| 遺伝子実験施設 |
| 情報メディア基盤センター |
| 留学生センター |
| 大学教育機能開発センター |
| アドミッションセンター |
| 先端計算研究センター |
| 言語教育研究センター |
| 核兵器廃絶研究センター |

| |
|-----------------|
| 学務情報推進室 |
| やってみゅーでスク |
| 男女共同参画推進センター |
| 研究推進戦略室 |
| 先端創薬イノベーションセンター |
| 地域教育連携・支援センター |



特色ある教育・研究

特色ある研究

文部科学省社会システム改革と研究開発の一体的推進事業
途上国におけるイノベーションを促進する国際協力の戦略的推進

| 採択年度 | 課 題 名 |
|-----------|--|
| 平成24～28年度 | 貧困層を中心とする複数感染症の一括・同時診断技術開発のアフリカ拠点整備とその技術を用いた多種感染症の広域的監視網と統合的感染症対策基盤の構築 |

文部科学省科学技術人材育成費補助金

| 採択年度 | プ ロ グ ラ ム 名 |
|-----------|-----------------|
| 平成23～27年度 | テニュアトラック普及・定着事業 |

文部科学省地域産学官連携科学技術振興事業費補助金

| 採択年度 | プ ロ グ ラ ム 名 |
|-----------|--------------------|
| 平成23～27年度 | 地域イノベーション戦略支援プログラム |

日本学術振興会アジア研究教育拠点事業

| 採択年度 | 研 究 交 流 課 題 名 |
|-----------|----------------------------------|
| 平成22～26年度 | アジアの健康長寿をめざす老化制御研究と地域老年医療教育拠点の構築 |

日本学術振興会研究拠点形成事業
アジア・アフリカ学術基盤形成型

| 採択年度 | 研 究 交 流 課 題 名 |
|-----------|-------------------------------|
| 平成25～27年度 | ビクトリア湖の環境保全と水産業振興のための集学的アプローチ |

特色ある教育

：補助期間中

：補助期間終了

博士課程教育リーディングプログラム

| 取組名称 | 取組部局 | 取組期間 |
|-----------------------------|-------------------|-----------|
| 熱帯病・新興感染症制御グローバルリーダー育成プログラム | 医歯薬学総合研究科，熱帯医学研究所 | 平成24～30年度 |

グローバル人材育成推進事業

| 取組名称 | 取組部局 | 取組期間 |
|-----------|-----------------------|-----------|
| タイプB（特色型） | 経済学部，経済学研究科，国際健康開発研究科 | 平成24～28年度 |

大学間連携共同教育推進事業

| 取組名称 | 取組部局 | 取組期間 |
|--|-------|-----------|
| 留学生との共修・協働による長崎発グローバル人材基盤形成事業（長崎大学 代表校，長崎国際大学ほか8大学 連携校） | 教育支援課 | 平成24～28年度 |
| 多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアを担う専門人材育成拠点（長崎大学 代表校，長崎県立大学ほか1大学 連携校） | 薬学部 | 平成24～28年度 |

質の高い大学教育推進プログラム

| 取組名称 | 取組部局 | 取組期間 |
|--------------------|------|-----------|
| 地域医療人育成プラットフォームの構築 | 医学部 | 平成20～22年度 |

特色ある大学教育支援プログラム

| 取組名称 | 取組部局 | 取組期間 |
|---|------|-----------|
| 地域と連携した実践型医学教育プログラム | 医学部 | 平成16～19年度 |
| 特色ある初年次教育の実践と改善 | 大学全体 | 平成15～18年度 |
| ものづくりを支える工学力教育の拠点形成（新潟大学 代表校，長崎大学ほか1大学 連携校） | 工学部 | 平成15～18年度 |

現代的教育ニーズ取組支援プログラム

| 取組名称 | 取組部局 | 取組期間 |
|----------------------|------|-----------|
| PAT プログラムによる地域共生力の育成 | 教育学部 | 平成19～21年度 |
| 現代『出島』発の国際人育成と長崎蘭学事始 | 大学全体 | 平成18～20年度 |
| 健全な社会を支える技術者の育成 | 工学部 | 平成18～20年度 |

新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム

| 取組名称 | 取組部局 | 取組期間 |
|---------------------|------|-----------|
| 学生が自ら育む人間関係力醸成プログラム | 大学全体 | 平成19～22年度 |

組織的な大学院教育改革推進プログラム

| 取組名称 | 取組部局 | 取組期間 |
|----------------------|-----------|-----------|
| 国際連携による熱帯感染症専門医の養成 | 医歯薬学総合研究科 | 平成21～23年度 |
| 新興金融市場分析の専門家育成プログラム | 経済学研究科 | 平成20～22年度 |
| 国際保健分野特化型の公衆衛生学修士コース | 国際健康開発研究科 | 平成20～22年度 |

「魅力ある大学院教育」イニシアティブ

| 取組名称 | 取組部局 | 取組期間 |
|----------------------|-----------|-----------|
| 海洋環境・資源の回復に寄与する研究者養成 | 生産科学研究科 | 平成17～18年度 |
| 国際的感染症研究者・専門医養成プログラム | 医歯薬学総合研究科 | 平成17～18年度 |

大学の世界展開力強化事業

| 取組名称 | 取組部局 | 取組期間 |
|----------------------|-------|-----------|
| 日中韓の大学間連携による水環境技術者育成 | 工学研究科 | 平成22～26年度 |

資質の高い教員養成推進プログラム

| 取組名称 | 取組部局 | 取組期間 |
|--------------------|--------|-----------|
| 出会い、研鑽、臨床で育む高度な支援力 | 教育学研究科 | 平成18～19年度 |

大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム

| 取組名称 | 取組部局 | 取組期間 |
|---|------|-----------|
| 在宅医療と福祉に重点化した薬学と看護学の統合教育と チーム医療総合職養成の拠点形成 (長崎大学<代表校>, 長崎県立大学ほか1大学<連携校>) | 薬学部 | 平成21～23年度 |

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

| 取組名称 | 取組部局 | 取組期間 |
|---|-----------|-----------|
| 九州がんプロ養成基盤推進プラン (九州大学 代表校, 長崎大学ほか10大学 連携校) | 医歯薬学総合研究科 | 平成24～28年度 |

がんプロフェッショナル養成プラン

| 取組名称 | 取組部局 | 取組期間 |
|--|-----------|-----------|
| 九州がんプロフェッショナル養成プラン (九州大学 代表校, 長崎大学ほか11大学 連携校) | 医歯薬学総合研究科 | 平成19～23年度 |

周産期医療環境整備事業 (NICU 等設置)

| 取組名称 | 取組部局 | 取組期間 |
|-----------------------------|------|-----------|
| 長崎大学 周産期医療環境整備事業 (NICU 等設置) | 病院 | 平成21～24年度 |

大学病院間の相互連携による優れた専門医等の養成

| 取組名称 | 取組部局 | 取組期間 |
|--|------|-----------|
| 出島発, 肥前の国専門医養成プログラム (長崎大学 代表校, 佐賀大学ほか7大学 連携校) | 病院 | 平成20～24年度 |
| 地域発信・統合型専門医養成プログラム (富山大学 代表校, 長崎大学ほか21大学 連携校) | 病院 | 平成20～24年度 |
| 多極連携型専門医・臨床研究医育成事業 (琉球大学 代表校, 長崎大学ほか27大学 連携校) | 病院 | 平成20～24年度 |

地域医療等社会的ニーズに対応した医療人教育支援プログラム

| 取組名称 | 取組部局 | 取組期間 |
|---------------------|------|-----------|
| 大学発“病院再生”による地域医療人育成 | 病院 | 平成17～19年度 |

地域医療等社会的ニーズに対応した質の高い医療人養成推進プログラム

| 取組名称 | 取組部局 | 取組期間 |
|--------------------|------|-----------|
| 女性医師の麻酔科復帰支援プロジェクト | 病院 | 平成18～20年度 |



学生数等

学 生 数

2013.5.1

学 部

(人)

| 学 部 | 学 科 ・ 課 程 | 入学 定員 | 編入学 定員 | 収容 定員 | 現 員 | | | | | | 計 | |
|-------------|-------------|----------|-----------|----------|-------|-------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|
| | | | | | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 | 5年次 | 6年次 | | |
| 教育 学部 | 学校教育教員養成課程 | 240 | - | 960 | 242 | 239 | 249 | 271 | - | - | 1,001 | |
| | 情報文化教育課程 | - | - | - | - | - | - | 2 | - | - | 2 | |
| | 計 | 240 | - | 960 | 242 | 239 | 249 | 273 | - | - | 1,003 | |
| 経済 学部 | 總 合 経済学科 | 昼間コース | 355 | - | 1,420 | 366 | 368 | 376 | 486 | - | - | 1,596 |
| | | 夜間主コース | 60 | - | 240 | 62 | 56 | 63 | 103 | - | - | 284 |
| | | | - | 15 | 30 | - | - | - | - | - | - | - |
| | 計 | 415 | 15 | 1,690 | 428 | 424 | 439 | 589 | - | - | 1,880 | |
| 医 学 部 | 医 学 科 | 116 | 5 | 683 | 134 | 118 | 128 | 115 | 101 | 100 | 696 | |
| | 保 健 学 科 | 106 | 14 | 452 | 107 | 112 | 128 | 109 | - | - | 456 | |
| | 計 | 222 | 19 | 1,135 | 241 | 230 | 256 | 224 | 101 | 100 | 1,152 | |
| 歯学部 | 歯 学 科 | 50 | - | 305 | 50 | 57 | 51 | 51 | 41 | 56 | 306 | |
| 薬学部 | 薬 学 科 | 40 | - | 240 | 41 | 39 | 41 | 40 | 40 | 42 | 243 | |
| | 薬 科 学 科 | 40 | - | 160 | 41 | 42 | 48 | 44 | - | - | 175 | |
| | 計 | 80 | - | 400 | 82 | 81 | 89 | 84 | 40 | 42 | 418 | |
| 工 学 部 | 工 学 科 | 380 | - | 1,140 | 412 | 401 | 401 | - | - | - | 1,214 | |
| | 機械システム工学科 | - | - | 80 | - | - | - | 102 | - | - | 102 | |
| | 電気電子工学科 | - | - | 80 | - | - | - | 123 | - | - | 123 | |
| | 情報システム工学科 | - | - | 50 | - | - | - | 69 | - | - | 69 | |
| | 構造工学科 | - | - | 40 | - | - | - | 50 | - | - | 50 | |
| | 社会開発工学科 | - | - | 50 | - | - | - | 71 | - | - | 71 | |
| | 材料工学科 | - | - | 50 | - | - | - | 78 | - | - | 78 | |
| | 応用化学科 | - | - | 50 | - | - | - | 66 | - | - | 66 | |
| | 各学科共通 | - | - | 10 | - | - | - | - | - | - | - | |
| 計 | 380 | - | 1,550 | 412 | 401 | 401 | 559 | - | - | 1,773 | | |
| 環境科学部 | 環 境 科 学 科 | 140 | 10 | 580 | 140 | 143 | 147 | 169 | - | - | 599 | |
| 水産学部 | 水 産 学 科 | 110 | - | 440 | 113 | 115 | 116 | 138 | - | - | 482 | |
| 合 計 | | 1,637 | 44 | 7,060 | 1,708 | 1,690 | 1,748 | 2,087 | 182 | 198 | 7,613 | |

2013.5.1
(人)

大学院

| 研究科 | 定員・現員 | | 修士・博士前期課程 | | | | 博士・博士後期課程 | | | | | | |
|--------------|-------|------|-----------|-----|-----|-----|-----------|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| | 入学定員 | 収容定員 | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 計 | 入学定員 | 収容定員 | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 | 計 |
| 教育学研究科 | 18 | 36 | 17 | 19 | - | 36 | - | - | - | - | - | - | - |
| 経済学研究科 | 15 | 30 | 13 | 16 | - | 29 | 3 | 9 | 3 | 3 | 5 | - | 11 |
| 工学研究科 | 200 | 400 | 207 | 224 | - | 431 | 15 | 45 | 13 | 18 | 10 | - | 41 |
| 水産・環境科学総合研究科 | 60 | 120 | 54 | 58 | - | 112 | 17 | 51 | 18 | 18 | 14 | - | 50 |
| 生産科学研究科 | - | - | - | 6 | - | 6 | - | - | - | - | 40 | - | 40 |
| 医歯薬学総合研究科 | 68 | 124 | 66 | 73 | - | 139 | 100 | 398 | 111 | 114 | 106 | 222 | 553 |
| 国際健康開発研究科 | 10 | 20 | 11 | 11 | - | 22 | - | - | - | - | - | - | - |
| 計 | 371 | 730 | 368 | 407 | - | 775 | 135 | 503 | 145 | 153 | 175 | 222 | 695 |

| 研究科 | 定員・現員 | | 専門職学位課程 | | | |
|--------|-------|------|---------|-----|-----|----|
| | 入学定員 | 収容定員 | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 計 |
| 教育学研究科 | 20 | 40 | 19 | 13 | 6 | 38 |
| 計 | 20 | 40 | 19 | 13 | 6 | 38 |

2013.5.1
(人)

研究生・科目等履修生等（延べ人数）

| 学部等 | 区分 | 研究生 | 科目等履修生 | 特別聴講学生 | 特別研究学生 |
|--------------|----|-----|--------|--------|--------|
| 教育学部・教育学研究科 | | 4 | 12 | 31 | 4 |
| 経済学部・経済学研究科 | | 5 | 1 | 13 | 2 |
| 医学部 | | | | | |
| 歯学部 | | | | | |
| 薬学部 | | 1 | 2 | 3 | |
| 工学部 | | 4 | 4 | 10 | |
| 環境科学部 | | 8 | 1 | 9 | |
| 水産学部 | | 1 | | 9 | |
| 国際健康開発研究科 | | | | | |
| 工学研究科 | | 1 | | | |
| 医歯薬学総合研究科 | | 7 | 1 | | 2 |
| 水産・環境科学総合研究科 | | 1 | | | 4 |
| 大学教育機能開発センター | | | 1 | | |
| 留学生センター | | | | 12 | |
| 計 | | 32 | 22 | 87 | 12 |

上記以外に長崎県における大学間の単位互換履修生（特別聴講）が16人

平成25年度入学者状況

学 部

2013.5.1(人)

| 学 部 | | 区 分 | 入 学 定 員 | 入 学 志 願 者 | | 入 学 者 | |
|-----------|-------------|-----|---------|-----------|-------|-------|-------|
| 教 育 学 部 | | | 240 | 724 | | 242 | |
| 経 済 学 部 | 昼 間 コ ー ス | | 355 | 995 | 33 | 358 | 8 |
| | 夜 間 主 コ ー ス | | 60 | 112 | | 62 | |
| 医 学 部 | | | 222 | 807 | | 222 | |
| 歯 学 部 | | | 50 | 266 | 2 | 50 | |
| 薬 学 部 | | | 80 | 552 | 1 | 82 | |
| 工 学 部 | | | 380 | 1,029 | 34 | 406 | 6 |
| 環 境 科 学 部 | | | 132 | 8 | 495 | 21 | 132 |
| 水 産 学 部 | | | 110 | 486 | | 113 | |
| 計 | | | 1,629 | 8 | 5,466 | 95 | 1,667 |

は外国人留学生で外数

出身高校による入学者（外国人留学生を除く）の地域別区分

2013.5.1(人)

| 学 部 | 区 分 | 長 崎 県 | 九 州 地 区 (長崎県を除く) | 中 国 地 区 四 国 | 近 畿 地 区 | 中 部 地 区 | 関 東 地 区 | 東 北 地 区 北 海 道 | 外 国 ・ 大 検 等 | 計 |
|-----------|-----|-------|---------------------|----------------|---------|---------|---------|------------------|----------------|-------|
| 教 育 学 部 | | 119 | 99 | 18 | 3 | 0 | 1 | 1 | 1 | 242 |
| 経 済 学 部 | | 160 | 229 | 17 | 4 | 3 | 3 | 1 | 3 | 420 |
| 医 学 部 | | 88 | 104 | 11 | 8 | 2 | 7 | 2 | 0 | 222 |
| 歯 学 部 | | 12 | 9 | 11 | 6 | 6 | 5 | 1 | 0 | 50 |
| 薬 学 部 | | 21 | 36 | 10 | 1 | 4 | 6 | 3 | 1 | 82 |
| 工 学 部 | | 162 | 206 | 16 | 7 | 7 | 4 | 3 | 1 | 406 |
| 環 境 科 学 部 | | 58 | 59 | 6 | 3 | 2 | 4 | 0 | 0 | 132 |
| 水 産 学 部 | | 33 | 32 | 9 | 20 | 10 | 7 | 2 | 0 | 113 |
| 計 | | 653 | 774 | 98 | 52 | 34 | 37 | 13 | 6 | 1,667 |

大 学 院

2013.5.1(人)

| 研究科 | 区 分 | 入 学 定 員 | 入 学 志 願 者 | | 入 学 者 | |
|-------------------------|------------|---------|-----------|----|-------|----|
| 教 育 学 研 究 科 | 修 士 | 18 | 15 | 4 | 14 | 3 |
| | 専 門 職 学 位 | 20 | 26 | | 19 | |
| 経 済 学 研 究 科 | 博 士 前 期 | 15 | 9 | 13 | 6 | 7 |
| | 博 士 後 期 | 3 | 4 | | 3 | |
| 工 学 研 究 科 | 博 士 前 期 | 200 | 230 | 15 | 194 | 13 |
| | 博 士 後 期 | 10 | 8 | 1 | 8 | 1 |
| | 博 士(5年一貫制) | 5 | 3 | 1 | 3 | 1 |
| | 博 士 前 期 | 60 | 63 | 15 | 46 | 7 |
| 水 産 ・ 環 境 科 学 総 合 研 究 科 | 博 士 後 期 | 12 | 8 | 5 | 8 | 5 |
| | 博 士(5年一貫制) | 5 | 3 | 2 | 2 | 1 |
| 医 歯 薬 学 総 合 研 究 科 | 修 士 | 32 | 24 | 1 | 21 | 1 |
| | 博 士 | 90 | 81 | 8 | 77 | 8 |
| | 博 士 前 期 | 36 | 34 | 2 | 31 | 2 |
| | 博 士 後 期 | 10 | 3 | | 3 | |
| 国 際 健 康 開 発 研 究 科 | 修 士 | 10 | 18 | | 11 | |
| 計 | | 526 | 529 | 67 | 446 | 49 |

は外国人留学生で外数

平成24年度卒業(修了)者及び進路状況

2013.3.31

学部卒業(修了)者

(人)

| 学部 | 平成24年度 | 累計 |
|-------|--------|--------|
| 教育学部 | 238 | 16,899 |
| 経済学部 | 昼間コース | 344 |
| | 夜間主コース | 51 |
| 医学部 | 220 | 6,874 |
| 歯学部 | 46 | 1,716 |
| 薬学部 | 73 | 4,203 |
| 工学部 | 373 | 13,982 |
| 環境科学部 | 164 | 1,751 |
| 水産学部 | 110 | 5,555 |
| 合計 | 1,619 | 66,789 |

大学院修了者

(人)

| 大学院 | 平成24年度 | 累計 |
|--------------|--------|--------|
| 教育学研究科 | 30 | 629 |
| 経済学研究科 | 10 | 222 |
| 工学研究科 | 197 | 197 |
| 水産・環境科学総合研究科 | 53 | 53 |
| 生産科学研究科 | 30 | 2,854 |
| 医歯薬学総合研究科 | 131 | 1,290 |
| 国際健康開発研究科 | 11 | 41 |
| 医学研究科 | | 1,294 |
| 歯学研究科 | | 149 |
| 薬学研究科 | | 924 |
| 工学研究科 | | 1,758 |
| 環境科学研究科 | | 46 |
| 水産学研究科 | | 616 |
| 海洋生産科学研究科 | | 245 |
| 合計 | 462 | 10,318 |

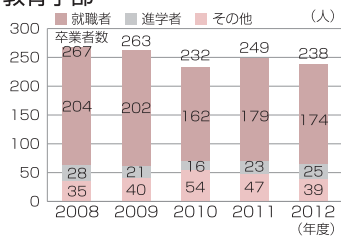
進路状況

(人)

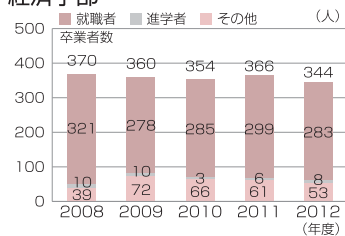
| 進路 | 学部 | 教育学部 | 経済学部 | 医学部保健学科 | 薬学部 | 工学部 | 環境科学部 | 水産学部 | 合計 |
|------|----------------|------|------|---------|------|------|-------|------|-------|
| 卒業 | 卒業者数 | 238 | 344 | 115 | 73 | 373 | 164 | 110 | 1,417 |
| 就職 | 就職希望者数 | 205 | 296 | 103 | 43 | 148 | 119 | 64 | 978 |
| | 就職者数 | 174 | 283 | 99 | 42 | 142 | 112 | 57 | 909 |
| | 就職率(%) | 84.9 | 95.6 | 96.1 | 97.7 | 95.9 | 94.1 | 89.1 | 92.9 |
| | 農林漁業 | | 1 | | | | 1 | 3 | 5 |
| | 鉱業・採石業・砂利採取業 | | | | | | | | |
| | 建設業 | 1 | 7 | | | 21 | 5 | 1 | 35 |
| | 製造業 | 2 | 30 | | 5 | 58 | 12 | 12 | 119 |
| | 電気・ガス・熱供給・水道業 | | 1 | | | 1 | 1 | | 3 |
| | 情報通信・運輸業・郵便業 | 5 | 29 | | | 12 | 9 | 5 | 60 |
| | 卸売業・小売業 | 2 | 29 | | 15 | 6 | 22 | 13 | 87 |
| | 金融業・保険業 | 7 | 68 | | | 1 | 23 | | 99 |
| | 不動産業・物品賃貸業 | | 11 | | | 1 | 2 | | 14 |
| | 学術研究・専門・技術サービス | 2 | 12 | | | 1 | | 2 | 17 |
| | 宿泊業・飲食サービス業 | 2 | 6 | | | | 2 | 1 | 11 |
| | 生活関連サービス業・娯楽業 | 4 | 5 | | | 2 | 3 | 2 | 16 |
| | 教育・学習支援業 | 120 | 8 | | | 5 | 8 | 2 | 143 |
| | 医療・福祉 | 16 | 10 | 99 | 21 | | 2 | 1 | 149 |
| | 複合サービス事業 | 2 | 7 | | | | 1 | | 10 |
| | サービス(他に分類されない) | 1 | 15 | | 1 | 15 | 3 | 2 | 37 |
| 公務 | 10 | 44 | | | | 19 | 18 | 104 | |
| 分類不能 | | | | | | | | | |
| 進学 | 進学者数 | 25 | 8 | 9 | 30 | 208 | 29 | 41 | 350 |
| その他 | | 39 | 53 | 7 | 1 | 23 | 23 | 12 | 158 |

過去5年間の進路状況の推移

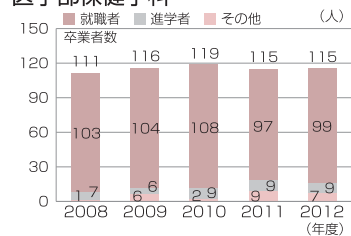
教育学部



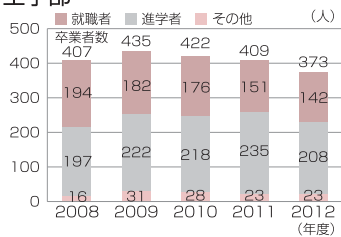
経済学部



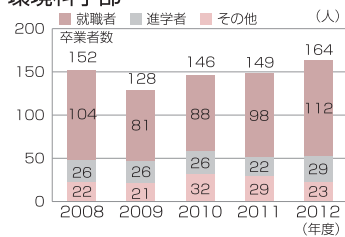
医学部保健学科



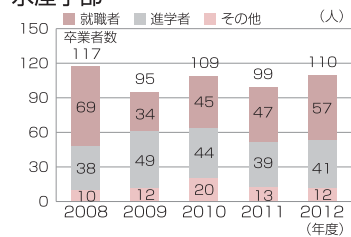
工学部



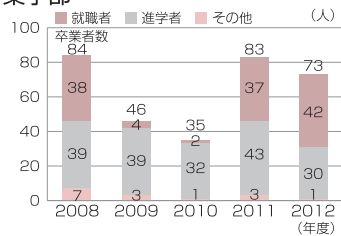
環境科学部



水産学部



薬学部



学位授与数

2013 .3 31

(人)

| 博士の種類 | 課程修了 | | 論文 | | 旧制授与数 |
|-------|--------|-------|--------|-------|-------|
| | 平成24年度 | 累計 | 平成24年度 | 累計 | |
| 学術 | 4 | 180 | 1 | 24 | |
| 経営学 | 3 | 13 | | | |
| 医学 | 64 | 1,719 | 6 | 1,820 | 1,347 |
| 歯学 | 9 | 228 | | 96 | |
| 薬学 | 9 | 147 | | 37 | |
| 臨床薬学 | | 13 | | | |
| 工学 | 6 | 288 | | 49 | |
| 水産学 | 8 | 66 | 1 | 15 | |
| 環境科学 | 2 | 18 | 1 | 3 | |
| 合計 | 105 | 2,672 | 9 | 2,044 | 1,347 |

(人)

| 修士の種類 | 平成24年度 | 累計 |
|-------|--------|-------|
| 学術 | 6 | 49 |
| 教育学 | 13 | 549 |
| 経済学 | 1 | 120 |
| 経営学 | 6 | 89 |
| 熱帯医学 | 4 | 74 |
| 看護学 | 3 | 31 |
| 理学療法学 | 4 | 44 |
| 作業療法学 | 3 | 22 |
| 薬学 | | 1,096 |
| 薬科学 | 35 | 68 |
| 臨床薬学 | | 209 |
| 工学 | 203 | 3,939 |
| 水産学 | 31 | 990 |
| 環境科学 | 21 | 246 |
| 公衆衛生学 | 11 | 41 |
| 合計 | 341 | 7,567 |

| 修士の種類 | 平成24年度 | 累計 |
|---------------|--------|----|
| 教職修士 (専門職) | 17 | 80 |



国際交流

平成25年度外国人留学生

部局別内訳

2013.5.1(人)

| 区分 学部等 | 学部学生 | 大学院生 | 研究生等 | 計 | 区分 学部等 | 学部学生 | 大学院生 | 研究生等 | 計 |
|-----------|------|------|------|----|--------------|------|---------|--------|---------|
| | | | | | | | | | |
| 経済学部 | 38 | | 17 | 55 | 経済学研究科 | | 15 | 2 | 17 |
| 医学部 | | | | | 工学研究科 | | 37(1) | 1 | 38(1) |
| 歯学部 | | | | | 水産・環境科学総合研究科 | | 36(3) | 4 | 40(3) |
| 薬学部 | | | 4 | 4 | 生産科学研究科 | | 7 | | 7 |
| 工学部 | 33 | | 10 | 43 | 医歯薬学総合研究科 | | 77(49) | 1 | 78(49) |
| 環境科学部 | 28 | | 17 | 45 | 留学生センター | | | 17(5) | 17(5) |
| 水産学部 | 4 | | 9 | 13 | 計 | 103 | 178(53) | 122(7) | 403(60) |

()は国費留学生を内数で示す。

国別内訳

(人)

| 区分 国名 | 学部学生 | 大学院生 | 研究生等 | 計 | 区分 国名 | 学部学生 | 大学院生 | 研究生等 | 計 |
|--------------|------|-------|------|--------|----------------|------|---------|--------|---------|
| | | | | | | | | | |
| バングラデシュ人民共和国 | | 6(2) | | 6(2) | モンゴル国 | | 1 | 1(1) | 2(1) |
| ベラルーシ共和国 | | 1(1) | | 1(1) | マリ共和国 | | 3 | | 3 |
| ベナン共和国 | | 1(1) | | 1(1) | ミャンマー連邦共和国 | | 1 | 1(1) | 2(1) |
| 中華人民共和国 | 79 | 85(4) | 63 | 227(4) | ネパール連邦民主共和国 | | 1(1) | | 1(1) |
| コンゴ民主共和国 | | 1(1) | | 1(1) | オランダ王国 | | | 8 | 8 |
| エジプト・アラブ共和国 | | 8(7) | 1(1) | 9(8) | ナイジェリア連邦共和国 | | 3(3) | | 3(3) |
| エルサルバドル共和国 | | 1(1) | | 1(1) | パラグアイ共和国 | | 1(1) | | 1(1) |
| フランス共和国 | | | 1(1) | 1(1) | フィリピン共和国 | | 1(1) | 1 | 2(1) |
| ガーナ共和国 | | 1(1) | | 1(1) | ロシア連邦 | | 1(1) | | 1(1) |
| グアテマラ共和国 | | | 1(1) | 1(1) | シンガポール共和国 | | 1(1) | | 1(1) |
| ホンジュラス共和国 | | 1(1) | | 1(1) | スリランカ民主社会主義共和国 | | | 1(1) | 1(1) |
| インドネシア共和国 | | 9(3) | | 9(3) | スーダン共和国 | | 3(2) | | 3(2) |
| イタリア共和国 | | 1(1) | | 1(1) | 台湾 | | 2 | 8 | 10 |
| カザフスタン共和国 | | 2 | | 2 | タイ王国 | 1 | 5 | 5 | 11 |
| ケニア共和国 | | 10(8) | 2(1) | 12(9) | トルコ共和国 | | 2(2) | | 2(2) |
| 大韓民国 | 18 | 11 | 29 | 58 | ウガンダ共和国 | | 1(1) | | 1(1) |
| コソボ共和国 | | 2(2) | | 2(2) | ベトナム社会主義共和国 | 2 | 10(5) | | 12(5) |
| | | | | | 計 | 103 | 178(53) | 122(7) | 403(60) |

()は国費留学生を内数で示す。国名はアルファベット順。

海外の大学等との学術交流協定締結状況

2013.5.1

| | 相手国(地域) | 相手機関 | 長崎大学の主管(締結)部局 | 締結年月日 | 更新年月日 |
|----|---------|-----------------|---------------|-----------------|-----------------|
| 1 | 中華人民共和国 | 福建省疾病预防控制中心 | 医歯薬学総合研究科 | 平成元年 8月23日 | 平成20年 10月1日 |
| 2 | | 復旦大学 | 医歯薬学総合研究科 | 平成元年 10月4日 | 平成21年 11月30日 |
| 3 | | 福州大学 | 工学研究科 | 平成4年 3月4日 | 平成21年 9月21日 |
| 4 | | 中国海洋大学 | 水産学部 | 平成9年 1月20日 | 平成21年 3月9日 |
| 5 | | 中国薬科大学 | 医歯薬学総合研究科 | 平成10年 10月30日 | 平成20年 10月29日 |
| 6 | | 福建医科大学 | 医歯薬学総合研究科 | 平成13年 8月6日 | 平成24年 7月23日 |
| 7 | | 同济大学 | 工学研究科 | 平成13年 11月12日 | 平成21年 9月28日 |
| 8 | | 大連海洋大学 | 水産・環境科学総合研究科 | 平成15年 1月17日 | 平成25年 1月17日 |
| 9 | | 第四軍医大学 | 医歯薬学総合研究科 | 平成15年 3月26日 | 平成25年 3月26日 |
| 10 | | 香港浸會大学中医薬学院 | (薬学部) | 平成16年 7月9日 | 平成21年 7月9日 |
| 11 | | 北京師範大学 | 教育学部 | 平成16年 12月27日 | 平成21年 12月27日 |
| 12 | | 北京教育学院 | 教育学部 | 平成16年 12月28日 | 平成21年 5月15日 |
| 13 | | 新疆医科大学 | 医歯薬学総合研究科 | 平成17年 9月26日 | 平成22年 9月26日 |
| 14 | | 上海財経大学国際工商管理大学院 | (経済学部) | 平成17年 11月21日 | 平成22年 11月18日 |
| 15 | | 中南大学 | 医歯薬学総合研究科 | 平成18年 4月18日 | 平成23年 4月18日 |
| 16 | | 東北師範大学 | 教育学部 | 平成19年 3月22日 | 平成24年 3月22日 |
| 17 | | 上海海洋大学 | 水産・環境科学総合研究科 | 平成19年 5月18日 | 平成24年 5月18日 |
| 18 | | 上海師範大学 | 教育学部 | 平成19年 6月27日 | 平成24年 6月27日 |
| 19 | | 華東師範大学 | 教育学部 | 平成19年 7月2日 | 平成24年 7月2日 |
| 20 | | 集美大学 | 水産・環境科学総合研究科 | 平成19年 8月9日 | 平成24年 8月9日 |
| 21 | | 天津科技大学 | 工学研究科 | 平成19年 12月10日 | 平成24年 12月10日 |
| 22 | | 吉林大学 | 環境科学部 | 平成20年 1月8日 | |
| 23 | | 中国医科大学 | 熱帯医学研究所 | 平成22年 9月21日 | |
| 24 | | 北京協和医科大学 | 熱帯医学研究所 | 平成22年 9月20日 | |
| 25 | | 江蘇省血吸虫病防治研究所 | 熱帯医学研究所 | 平成22年 9月20日 | |
| 26 | | 山東大学 | 工学研究科 | 平成22年 11月1日 | |
| 27 | | 山東科技大学 | 工学研究科 | 平成22年 11月1日 | |
| 28 | | 浙江海洋学院 | 水産・環境科学総合研究科 | 平成23年 7月28日 | |

()は部局間協定

| | 相手国(地域) | 相手機関 | 長崎大学の主管(締結)部局 | 締結年月日 | 更新年月日 |
|----|-----------|---------------|----------------|-----------------|-----------------|
| 29 | 中華人民共和国 | 西南財経大学 | 経済学部 | 平成24年 3月1日 | |
| 30 | | 広州医学院 | 医歯薬学総合研究科 | 平成25年 3月11日 | |
| 31 | 台湾 | 国立陽明大学 | 医歯薬学総合研究科 | 平成14年 6月21日 | 平成24年 9月29日 |
| 32 | | 淡江大学 | 環境科学部 | 平成16年 11月8日 | 平成21年 11月8日 |
| 33 | | 国立高雄海洋科技大学 | 水産学部 | 平成17年 4月19日 | 平成22年 4月19日 |
| 34 | | 国立台湾海洋大学 | 水産・環境科学総合研究科 | 平成17年 8月9日 | 平成22年 8月9日 |
| 35 | | 高雄医学大学 | 医歯薬学総合研究科 | 平成18年 8月1日 | 平成23年 8月1日 |
| 36 | | 国立政治大学 | 環境科学部 | 平成21年 8月4日 | |
| 37 | | 国立台湾大学 | 環境科学部 | 平成22年 11月5日 | |
| 38 | | 国立台湾師範大学 | 水産・環境科学総合研究科 | 平成24年 2月13日 | |
| 39 | | 行政院農業委員会水産試験所 | 水産・環境科学総合研究科 | 平成24年 6月8日 | |
| 40 | | 大韓民国 | 済州大学校 | 工学研究科 | 昭和63年 1月26日 |
| 41 | 釜慶大学校 | | 水産学部 | 平成9年 1月29日 | 平成21年 9月30日 |
| 42 | 江原大学校 | | 工学研究科 | 平成14年 4月4日 | 平成24年 4月2日 |
| 43 | 晋州保健大学 | | 医歯薬学総合研究科 | 平成14年 9月11日 | 平成24年 12月28日 |
| 44 | 昌原大学校 | | 教育学部 | 平成14年 10月24日 | 平成24年 9月25日 |
| 45 | 全南大学校 | | 水産・環境科学総合研究科 | 平成14年 12月20日 | 平成23年 8月17日 |
| 46 | 仁荷大学校 | | 水産学部 | 平成15年 7月4日 | 平成20年 9月16日 |
| 47 | 漢陽大学校 | | 教育学部 | 平成15年 10月10日 | 平成23年 10月10日 |
| 48 | 延世大学校 | | 教育学部 | 平成15年 11月18日 | 平成23年 11月18日 |
| 49 | 韓国海洋研究院 | | 水産学部 | 平成16年 2月11日 | 平成21年 2月11日 |
| 50 | 慶北大学校 | | 教育学部 | 平成16年 9月30日 | 平成21年 9月30日 |
| 51 | 韓国国立水産科学院 | | 水産学部 | 平成17年 3月7日 | 平成22年 3月7日 |
| 52 | 梨花女子大学校 | | 留学生センター | 平成18年 2月22日 | 平成23年 2月22日 |
| 53 | 成均館大学校 | | 留学生センター | 平成18年 3月28日 | 平成23年 3月28日 |
| 54 | 慶熙大学校 | | 留学生センター | 平成18年 8月21日 | 平成23年 8月21日 |
| 55 | ハーリム大学校 | | 医歯薬学総合研究科 | 平成19年 5月23日 | 平成24年 5月23日 |
| 56 | ソウル大学校 | | 医歯薬学総合研究科 | 平成19年 7月16日 | 平成24年 7月16日 |
| 57 | ブサン大学校 | | 医歯薬学総合研究科 | 平成19年 9月13日 | 平成24年 9月13日 |
| 58 | 嶺南大学校 | 工学研究科 | 平成20年 2月28日 | 平成25年 2月28日 | |

()は部局間協定

| | 相手国(地域) | 相手機関 | 長崎大学の主管(締結)部局 | 締結年月日 | 更新年月日 |
|----|------------------|----------------------------|---------------|-----------------|-----------------|
| 59 | 大韓民国 | 新羅大学校 | 教育学部 | 平成20年 6月17日 | |
| 60 | | 韓国教員大学校 | 教育学部 | 平成22年 10月25日 | |
| 61 | | 全北大学校 | 工学研究科 | 平成22年 11月1日 | |
| 62 | | 中央大学校 | 経済学部 | 平成24年 3月1日 | |
| 63 | モンゴル国 | モンゴル国立健康科学大学 | 医歯薬学総合研究科 | 平成20年 6月25日 | |
| 64 | タイ王国 | チェンマイ大学 | 熱帯医学研究所・経済学部 | 昭和63年 2月1日 | 平成23年 4月1日 |
| 65 | | チュラロンコン大学 | 医歯薬学総合研究科 | 平成11年 3月26日 | 平成21年 4月5日 |
| 66 | | マヒドン大学 | 熱帯医学研究所 | 平成11年 11月1日 | 平成22年 6月14日 |
| 67 | | タマサート大学 | 熱帯医学研究所 | 平成18年 3月13日 | 平成23年 3月13日 |
| 68 | | タイ王国保健省医科学局 | 医歯薬学総合研究科 | 平成18年 3月25日 | 平成23年 3月25日 |
| 69 | インドネシア 共和 | サムラトランギ大学 | 水産学部 | 平成5年 4月19日 | 平成22年 6月29日 |
| 70 | | トリサクティ大学 | 医歯薬学総合研究科 | 平成15年 10月11日 | 平成20年 10月11日 |
| 71 | | アイルランガ大学 | 熱帯医学研究所 | 平成16年 1月20日 | 平成21年 1月20日 |
| 72 | | ブラウィジャヤ大学 | 水産学部 | 平成20年 9月9日 | |
| 73 | | ボルネオ大学 | 水産学部 | 平成22年 7月8日 | |
| 74 | シンガポール 共和 | シンガポール国立大学 | 医歯薬学総合研究科 | 昭和62年 6月15日 | 平成22年 4月16日 |
| 75 | マレーシア | マレーシア科学大学 | 水産学部 | 平成7年 5月15日 | 平成21年 9月30日 |
| 76 | フィリピン 共和 | フィリピン大学ディリマン校 | 熱帯医学研究所 | 平成13年 4月10日 | 平成22年 4月10日 |
| 77 | | セントルークス医療センター | 熱帯医学研究所 | 平成16年 2月17日 | 平成21年 2月17日 |
| 78 | | サンラザロ病院医療センター | 熱帯医学研究所 | 平成16年 8月20日 | 平成21年 8月20日 |
| 79 | | イースト大学 | 医歯薬学総合研究科 | 平成17年 1月26日 | 平成22年 1月26日 |
| 80 | | フィリピン大学ピサヤ校 | 医歯薬学総合研究科 | 平成22年 3月17日 | |
| 81 | ベトナム 社会主義共和 | 国立衛生疫学研究所 | 熱帯医学研究所 | 平成13年 6月25日 | 平成23年 10月12日 |
| 82 | | カントー大学 | 水産・環境科学総合研究科 | 平成24年 2月23日 | |
| 83 | ミャンマー 連邦共和 | ミャンマー保健省医科学局及び医学研究局(南部・中部) | 医歯薬学総合研究科 | 平成19年 2月20日 | 平成24年 2月20日 |
| 84 | バングラデシュ 人民共和国 | BRAC 大学 | 国際健康開発研究科 | 平成20年 5月30日 | |
| 85 | インド | スリー・チトラ・トリニユアル医療科学技術研究所 | 国際健康開発研究科 | 平成20年 7月17日 | |
| 86 | | インド国防省附属防衛科学技術研究所 | 熱帯医学研究所 | 平成22年 1月28日 | |
| 87 | オーストラリア連邦 | エディスコーワン大学 | 言語教育研究センター | 平成24年 11月19日 | |
| 88 | アメリカ合衆国 | サウス・カロライナ大学 | 水産・環境科学総合研究科 | 平成4年 1月21日 | 平成24年 5月28日 |

()は部局間協定

| | 相手国(地域) | 相手機関 | 長崎大学の主管(締結)部局 | 締結年月日 | 更新年月日 |
|-----|-----------------------------------|--------------------------------------|---------------|-----------------|----------------|
| 89 | アメリカ合衆国 | ミシガン州立大学 | 医歯薬学総合研究科 | 平成14年 3月6日 | 平成25年 3月5日 |
| 90 | | アリゾナ大学 | 環境科学部 | 平成14年 8月27日 | 平成20年 5月12日 |
| 91 | | ハワイ大学マノア校 | 水産・環境科学総合研究科 | 平成19年 6月14日 | 平成24年 6月14日 |
| 92 | | ミネソタ州立大学マンケイト校 | 言語教育研究センター | 平成23年 11月14日 | |
| 93 | | カリフォルニア州立大学 サンバーナーディーノ校 | 経済学部 | 平成24年 6月13日 | |
| 94 | ブラジル 連邦共和国 | 南リオ・グランデカトリック大学 | 医歯薬学総合研究科 | 平成18年 3月10日 | 平成23年 3月10日 |
| 95 | | フィゲイラ教授記念母子保健研究所 | 医歯薬学総合研究科 | 平成19年 7月20日 | |
| 96 | イタリア共和国 | トリノ工科大学 | 工学研究科 | 平成9年 8月1日 | 平成24年 5月30日 |
| 97 | | ナポリ大学フェデリコⅡ | 工学研究科 | 平成10年 5月4日 | 平成20年 5月4日 |
| 98 | | パーリ大学 | 工学研究科 | 平成20年 7月10日 | |
| 99 | 英国(グレートブリ テン及び北アイルラ ンド連合王国) | オックスフォード大学グレイ研究 所(放射線腫瘍学・生物学研究科) | (医歯薬学総合研究科) | 平成15年 2月26日 | 平成21年 1月9日 |
| 100 | | リバプール大学 | 医歯薬学総合研究科 | 平成18年 3月6日 | 平成23年 3月6日 |
| 101 | | ロンドン大学衛生熱帯医学大学院 | 国際健康開発研究科 | 平成25年 4月9日 | |
| 102 | ドイッ 連邦共和国 | ビュルツブルク大学 | 医歯薬学総合研究科 | 平成8年 9月26日 | 平成23年 9月27日 |
| 103 | | ヨハネス・ゲーテンベルク・マインツ大学 | 医歯薬学総合研究科 | 平成22年 6月21日 | |
| 104 | バルトガル共和国 | バルト大学 | 医歯薬学総合研究科 | 平成22年 11月23日 | |
| 105 | オランダ王国 | ライデン大学 | 医歯薬学総合研究科 | 平成元年 4月25日 | 平成20年 10月1日 |
| 106 | ベルギー王国 | アントワープ熱帯医学研究所 | 国際健康開発研究科 | 平成25年 1月29日 | |
| 107 | フランス共和国 | オート・アルガス大学ミュールーズ国立高等化学院 | 医歯薬学総合研究科 | 平成17年 9月9日 | 平成22年 9月9日 |
| 108 | | ギメ東洋美術館 | (附属図書館) | 平成24年 7月18日 | |
| 109 | ノルウェー王国 | ノルウェー科学技術大学 | 水産学部 | 平成18年 1月18日 | 平成23年 1月18日 |
| 110 | ベラルーシ 共和国 | ベラルーシ医科大学 | 医歯薬学総合研究科 | 平成8年 5月29日 | 平成23年 7月25日 |
| 111 | | ゴメリ医科大学 | 医歯薬学総合研究科 | 平成14年 1月31日 | 平成24年 1月31日 |
| 112 | | ベラルーシ卒業後教育医学アカデミー | 医歯薬学総合研究科 | 平成20年 7月11日 | |
| 113 | カザフスタ ン共和国 | セメイ医科大学 | 医歯薬学総合研究科 | 平成10年 3月4日 | 平成25年 2月1日 |
| 114 | | カザフスタン放射線医学環境研究所 | 原爆後障害医療研究所 | 平成14年 12月18日 | 平成25年 2月1日 |
| 115 | | カザフ国立医科大学 | 医歯薬学総合研究科 | 平成21年 8月26日 | |
| 116 | | カザフスタン・ロシア医科大学 | 医歯薬学総合研究科 | 平成23年 6月7日 | |
| 117 | | シズガノフ国立外科科学センター | 医歯薬学総合研究科 | 平成24年 8月1日 | |
| 118 | ウクライナ | 国立ウクライナ医学アカデミーV.P. コミサレンコ内分泌代謝研究所 | 原爆後障害医療研究所 | 平成15年 2月21日 | 平成25年 2月1日 |

()は部局間協定

| | 相手国(地域) | 相手機関 | 長崎大学の主管(締結)部局 | 締結年月日 | 更新年月日 |
|-----|------------------|-------------------------------|---------------|-----------------|-----------------|
| 119 | ウクライナ | 国立ウクライナ医学アカデミー 放射線医学研究センター | 原爆後障害医療研究所 | 平成15年 2月21日 | 平成25年 2月1日 |
| 120 | | ウクライナ放射線防護研究所 | 原爆後障害医療研究所 | 平成24年 11月16日 | |
| 121 | ロシア連邦 | ロシア連邦保健・社会開発省放 射線医学研究所 | 医歯薬学総合研究科 | 平成14年 7月5日 | 平成24年 11月1日 |
| 122 | | サンクトペテルブルグ卒業教育医学アカデミー | 原爆後障害医療研究所 | 平成20年 6月30日 | |
| 123 | ケニア共和国 | ケニヤッタ大学 | 医歯薬学総合研究科 | 平成16年 3月29日 | 平成21年 3月29日 |
| 124 | | ケニア中央医学研究所 | 熱帯医学研究所 | 平成16年 11月12日 | 平成21年 10月20日 |
| 125 | | ナイロビ大学 | 医歯薬学総合研究科 | 平成22年 4月27日 | |
| 126 | | ケニア国立海洋水産研究所 | 水産・環境科学総合研究科 | 平成23年 8月29日 | |
| 127 | | モイ大学 | 工学研究科 | 平成24年 10月10日 | |
| 128 | 南アフリカ共和国 | 南アフリカ国立感染症研究所 | 熱帯医学研究所 | 平成22年 7月8日 | |
| 129 | タンザニア 連合共和国 | ムヒンビリ健康科学大学 | 医歯薬学総合研究科 | 平成23年 12月23日 | |
| 130 | ヨルダン ハシェミット王国 | ヨルダン大学 | 医歯薬学総合研究科 | 平成15年 3月12日 | 平成20年 3月12日 |
| 131 | トルコ共和国 | 黒海工科大学 | 水産学部 | 平成16年 5月20日 | 平成21年 5月20日 |

()は部局間協定

教員の海外渡航及び外国人研究者受入数(平成24年度)

| 区 分 | | 渡航者数 | 受入者数 | 区 分 | | 渡航者数 | 受入者数 | | |
|-----------|-------------|-----------|------|-----------|-------------------------------|----------|----------|-----|----|
| アジア | 中華人民共和国 | 118 | 16 | ヨーロッパ | 英国(グレートブリテン及び 北アイルランド連合王国) | 24 | 9 | | |
| | 台湾 | 21 | 8 | | EU | フランス共和国 | 20 | 3 | |
| | 大韓民国 | 129 | 18 | | | ドイツ連邦共和国 | 36 | 4 | |
| | ASEAN諸国 | フィリピン共和国 | 21 | | | 3 | オランダ王国 | 23 | 1 |
| | | マレーシア | 6 | | | 3 | その他 | 105 | 12 |
| | | タイ王国 | 44 | | | 10 | ノルウェー王国 | 2 | |
| | | インドネシア共和国 | 9 | | | 3 | スイス連邦 | 9 | 1 |
| | ベトナム社会主義共和国 | 41 | 7 | | その他 | 2 | 1 | | |
| | その他 | 44 | 10 | | ロシア/INIS諸国 | ロシア連邦 | 5 | 1 | |
| | 南北中央アメリカ | アメリカ合衆国 | 59 | | | 11 | ベラルーシ共和国 | 7 | 4 |
| カナダ | | 180 | 23 | カザフスタン共和国 | | 14 | 4 | | |
| ブラジル連邦共和国 | | 11 | 1 | その他 | | 5 | 1 | | |
| その他 | | 8 | 3 | アフリカ | ケニア共和国 | 44 | 4 | | |
| 中東 | トルコ共和国 | 8 | 8 | | その他 | 30 | 6 | | |
| | その他 | 11 | 6 | 大洋州 | オーストラリア連邦 | 20 | 3 | | |
| | その他 | 5 | 2 | | フィジー共和国 | 3 | | | |
| | | | | | その他 | 3 | | | |
| | | | | 合計 | | 1,067 | 178 | | |



社会貢献

産学官連携戦略本部

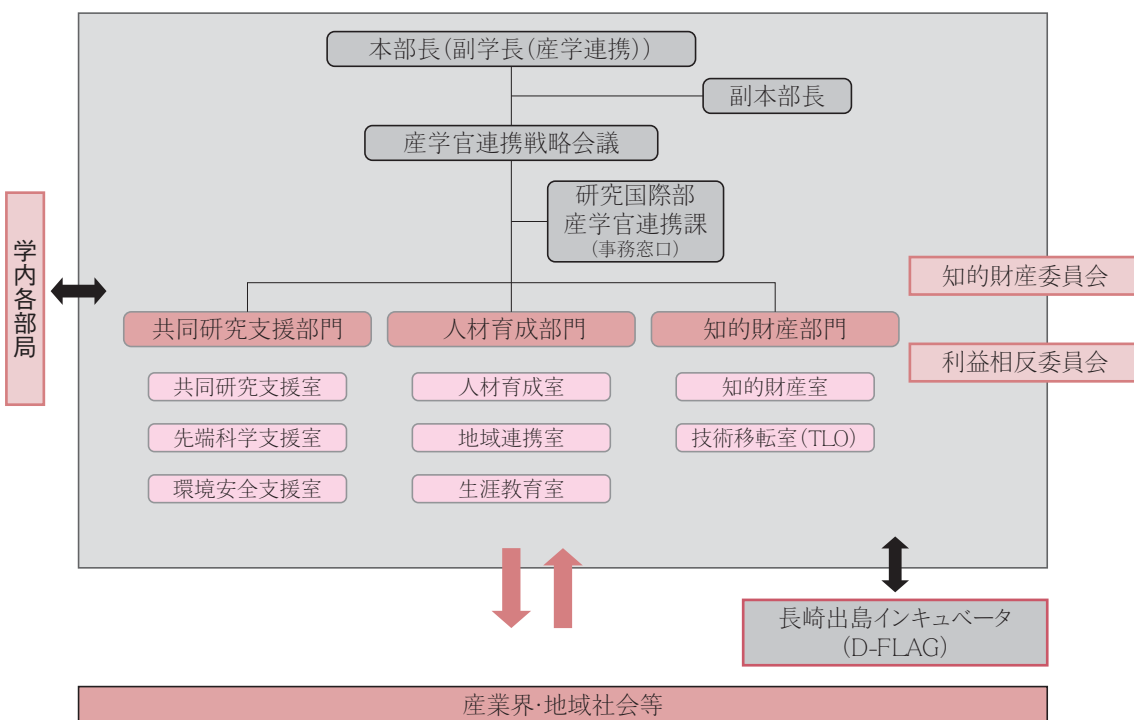
産学官連携戦略本部は、産学官連携，研究成果の評価・管理・活用，生涯学習に係わる大学全体の活動を，戦略的な推進体制の下，総合的かつ機能的に実施することを目的として，共同研究支援部門，人材育成部門，知的財産部門の3部門から構成される組織として2011年6月1日に設置されました。

共同研究支援部門は，大学と地域社会の接点を担い，研究シーズや情報の発信，技術相談への対応，先端分析機器の保守・管理や依頼分析の実施，機器分析の技術指導，環境安全マネジメント全般の実践を行っています。

人材育成部門は，人材資源を活用して社会に貢献する部門として，起業支援や地域自治体への協力・支援，地域における知識基盤社会の実現に向けた生涯学習の推進を行っています。

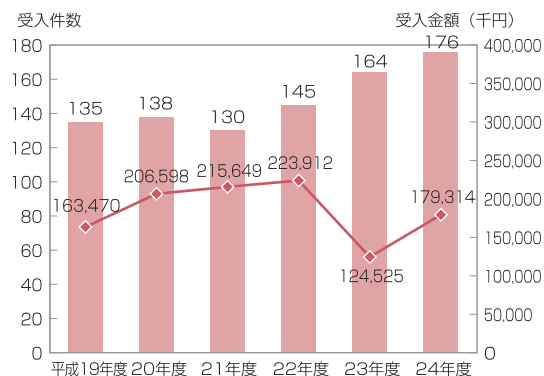
知的財産部門は，研究成果を知的財産として組織的に保護育成し，地場企業から国内外の企業まで幅広く公開することで新製品・新産業創出へとつなぎ，その結果として地域・国際社会へ貢献できるように積極的な活動を行っています。

長崎大学産学官連携戦略本部

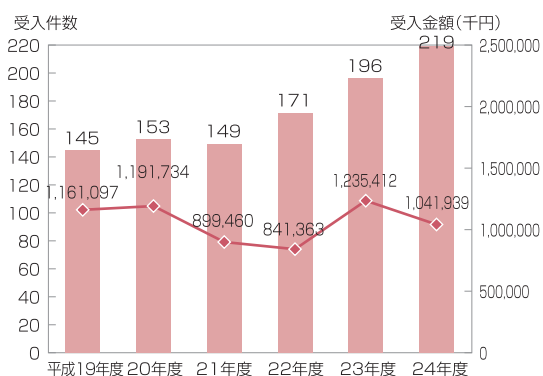


産学連携

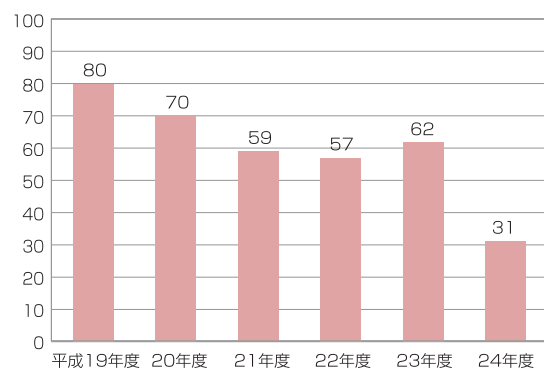
共同研究



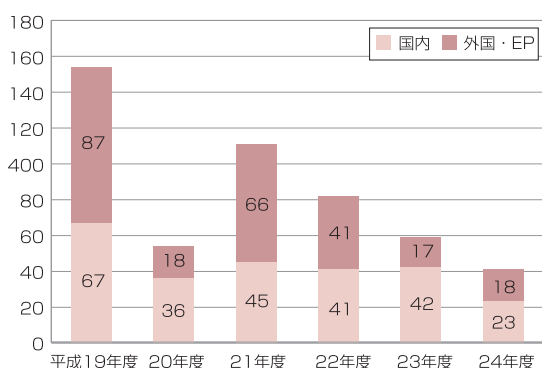
受託研究



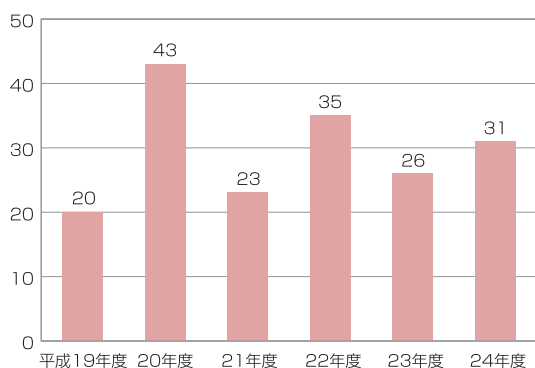
発明届件数



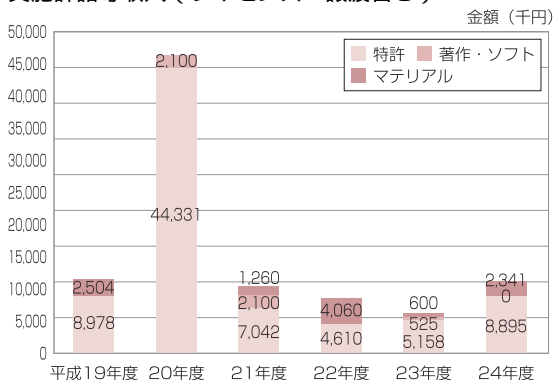
特許出願件数



実施許諾権利数



実施許諾等収入 (ライセンス・譲渡含む)

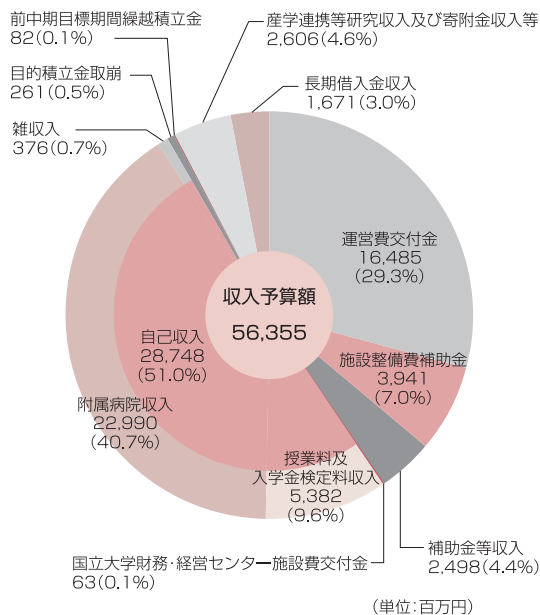




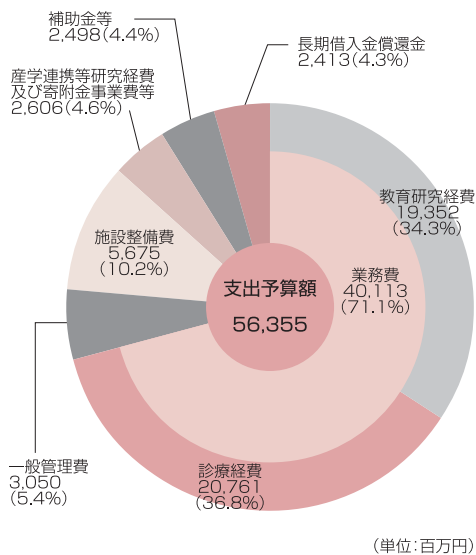
財 政

平成25年度予算額

(収 入)



(支 出)



(単位:百万円)

外部資金等

科学研究費助成事業

2013.5

| 研究種目 | 内定件数 | 予算額(千円) |
|------------|------|-----------|
| 新学術領域研究 | 14 | 105,700 |
| 基盤研究(A) | 8 | 71,500 |
| 基盤研究(B) | 74 | 276,500 |
| 基盤研究(C) | 273 | 330,250 |
| 挑戦的萌芽研究 | 81 | 95,500 |
| 若手研究(A) | 5 | 32,400 |
| 若手研究(B) | 135 | 174,800 |
| 研究活動スタート支援 | 6 | 6,600 |
| 奨励研究 | 7 | 3,500 |
| 特別研究員奨励費 | 11 | 11,900 |
| 合 計 | 614 | 1,108,650 |

奨学寄附金

平成24年度

| 件 数 | 金 額(千円) |
|-------|-----------|
| 1,878 | 1,242,165 |

受託研究経費

平成24年度

| 件 数 | 金 額(千円) |
|-----|-----------|
| 219 | 1,041,939 |

民間等との共同研究

平成24年度

| 件 数 | 金 額(千円) |
|-----|---------|
| 176 | 179,314 |

配分予算額は直接経費のみを示している。



キャンパス

文教キャンパス

事務局
教育学部
薬学部
工学部
環境科学部
水産学部
附属図書館

- | | |
|-------------------------------|------------------|
| ① 時計台と大壁画 | ⑨ おもいやい広場とピオトープ |
| ② 捕鯨砲 | ⑩ サークルセンター |
| ③ 生協食堂とウッドデッキ | ⑪ 下村脩名誉博士顕彰記念館 |
| ④ 若人の像 | ⑫ 附属薬用植物園 |
| ⑤ 原爆慰霊碑 | ⑬ 附属図書館 ギャラリー |
| ⑥ 生協文教店 | ⑭ 三菱兵器制作所の碑 |
| ⑦ おもいやいセンター (男女共同参画推進センター) | ⑮ ヒトツバタゴ |
| ⑧ 中部講堂 | |



坂本キャンパス

医学部(医学科)
 熱帯医学研究所
 原爆後障害医療研究所
 国際健康開発研究科



感染動物実験施設は6月末に廃止予定

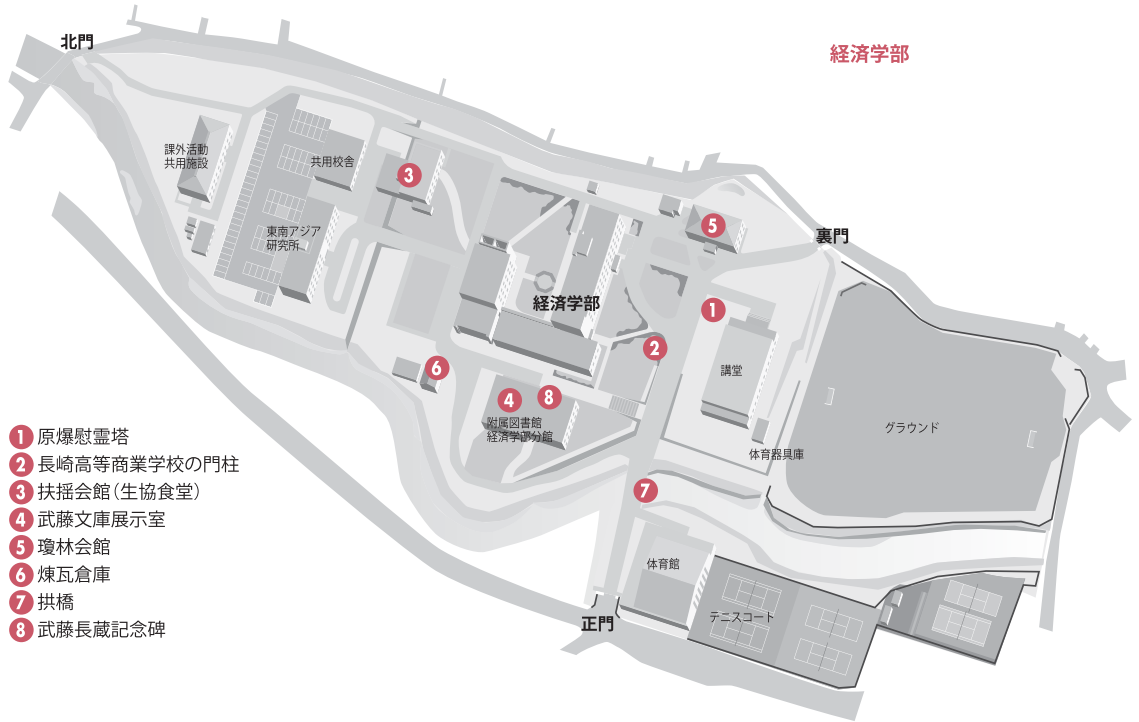
坂本キャンパス

医学部 (保健学科)
 歯学部
 大学病院

- ① すかいらうんじ ぼんべ
- ② 水壺を捧げる子供の像
- ③ 被爆したクスノキ
- ④ 院内ギャラリー
- ⑤ コリドール
- ⑥ 長崎医科大学附属病院碑
- ⑦ ローソン
- ⑧ 福利厚生施設 (生協食堂)

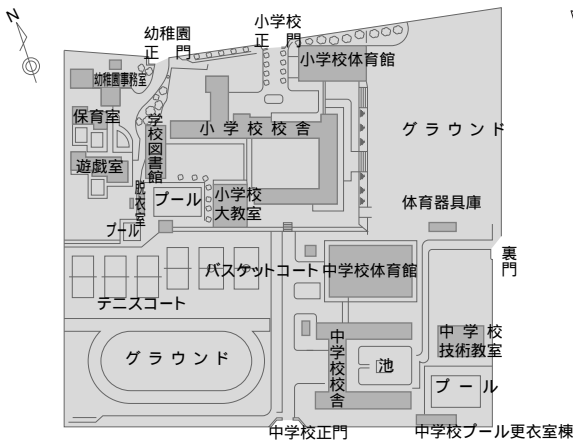


片淵キャンパス

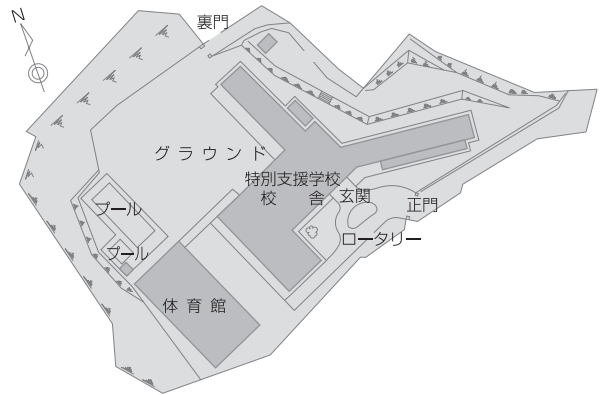


- ① 原爆慰霊塔
- ② 長崎高等商業学校の門柱
- ③ 扶揺会館(生協食堂)
- ④ 武藤文庫展示室
- ⑤ 瓊林会館
- ⑥ 煉瓦倉庫
- ⑦ 拱橋
- ⑧ 武藤長蔵記念碑

附属学校（幼稚園・小学校・中学校）



附属特別支援学校



厚生補導施設等

体育施設

| 施設名 地区名 | 体 育 館 | 弓 道 場 | 柔 道 場 | 剣 道 場 | 武 道 場 | テ ニ ス コ ー ト | グ ラ ウ ン ド | バ レ ー コ ー ト | ブ ー ル | ハ ン ド ボ ー ル コ ー ト | 備 考 |
|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|----------------------------|-----------------------|----------------------------|-------------|---|---|
| 文 教 地 区 | 2 | 1 | 1 | 1 | | 8 | 1 | 2 | 1 | 1 | ・柔道場，剣道場及び武道場は各地区の体育館内 ・文教地区バレーコート，ハンドボールコートはテニスコートと兼用 |
| 片 淵 地 区 | 1 | | | | | 4 | 1 | | | | |
| 坂 本 地 区 | 2 | 1 | | | 1 | 2 | 1 | | | | |
| 計 | 5 | 2 | 1 | 1 | 2 | 16 | 3 | 2 | 1 | 1 | |

その他主たる施設

| 名 称 | 部 局 | 場 所 | 主 な 施 設 | 主 な 事 業 | 事 業 体 |
|------------------------|------------|--------------------------|---|--|--------------------------|
| 臨海研修所 | 学生支援部 | 西彼杵郡時津町子々川郷 | 宿 泊 施 設 食 堂 ポ ー ト | 学生の課外活動 教職員研修会 レクリエーション | 長崎大学 |
| 九州地区国立大学 島原共同研修センター | 〃 | 島原市礪石原町甲1201 | 宿 泊 施 設 体 育 施 設 | 研 修 会 レクリエーション | 長崎大学 |
| 課外活動 共用施設 | 〃 | 文教町1 - 14 長崎大学文教地区構内 | 共用室・研修室 ミーティングルーム | 学生の課外活動 | 長崎大学 |
| 学生会館 | 〃 | 〃 | 就職支援・キャリア情報コーナー 共用談話室・集会室 和室・茶室 多目的室 食堂・喫茶 売 店 売 店 理 容 室 | 就職情報の収集 提供 相談 学生の課外活動 食 品 販 売 食 堂 ・ 喫 茶 書 籍 ・ 日 用 品 販 売 調 髪 ・ 美 容 | 長崎大学 長崎大学生協同組合 業 者 |
| 学生プラザ | 〃 | 〃 | 多目的ホール1 多目的ホール2 | 学生の課外活動 | 長崎大学 |
| グローバル教育・ 学生支援棟 | 〃 | 〃 | 文教スカイホール | 講義，講演会 学生の課外活動 | 長崎大学 |
| 課外活動 共用施設 | 経済学部 | 片淵4丁目2 - 1 長崎大学経済学部構内 | 談話室・共用室 共用会議室 音楽練習室 レコード鑑賞室 制作室・暗室 研 修 室 | 学生の課外活動 宿 泊 施 設 | 長崎大学 |
| 坂本1団地地区 課外活動共用施設 | 医学部 医学科 | 坂本1丁目12 - 4 長崎大学医学部構内 | 共 用 室 音 楽 練 習 室 室 外 器 具 庫 | 学生の課外活動 | 長崎大学 |

| 名 称 | 部 局 | 場 所 | 主 な 施 設 | 主 な 事 業 | 事 業 体 |
|---------------------|-------------|--------------------------|-------------------------|-------------------------------|-------------------|
| 坂本2団地地区 課外活動共用施設 | 医学部 保健学科 | 坂本1丁目7-1 長崎大学医学部保健学科内 | 共用室・談話室 共有会議室 器具庫 | 学生の課外活動 | 長崎大学 |
| 扶 揺 会 館 | 経済学部 | 片淵4丁目2-1 長崎大学経済学部構内 | 談話室・和室 集会室・食堂 売 店 | 学生の課外活動 喫 茶 書籍・食堂・日用品販売 | 長崎大学 長崎大学生協同組合 |
| 福利厚生施設 | 医学部 医学科 | 坂本1丁目12-4 長崎大学医学部構内 | 談話室 食堂・売店 | 食 堂 書籍・食品・日用品販売 | 長崎大学 長崎大学生協同組合 |
| " | 歯学部 | 坂本1丁目7-1 長崎大学歯学部構内 | 談話室・和室 軽 食 室 | 学生の課外活動 食 堂 書籍・日用品販売 | 長崎大学 長崎大学生協同組合 |
| " | 医学部 保健学科 | 坂本1丁目7-1 長崎大学病院構内 | 食 堂 売 店 | 食 堂 日 用 品 販 売 | 長崎大学生協同組合 |

土地・建物・船舶

土地・建物

| 施 設 等 | 所 在 地 | 土 地 (㎡) | | 建 物 (㎡) | |
|-----------------------------------|--------------------|---------|-----|--------------------------|-----------------------|
| | | 大 学 | 借 用 | 大 学 | 借 用 |
| 文 教 キ ャ ン パ ス | 長崎市文教町1-14 | 187,125 | | $\frac{40,967}{120,700}$ | |
| 職 員 集 会 所 | 長崎市上西山町11-1, 11-13 | 903 | | $\frac{228}{399}$ | |
| 臨 海 研 修 所 | 西彼杵郡時津町子々川郷 | 1,451 | 106 | $\frac{371}{616}$ | |
| 教育学部附属幼稚園, 附属小学校, 附属中学校 | 長崎市文教町4-23 | 51,185 | | $\frac{8,625}{16,105}$ | |
| 教育学部附属特別支援学校 | 長崎市柳谷町42-1 | 12,529 | | $\frac{2,310}{3,527}$ | |
| 経済学部 附属図書館(経済学部分館) | 長崎市片淵4丁目2-1 | 51,843 | | $\frac{6,854}{16,413}$ | |
| 坂 本 キ ャ ン パ ス 1 | 長崎市坂本1丁目12-4 | 91,231 | | $\frac{17,886}{55,211}$ | |
| 医 学 部 納 骨 堂 | 長崎市銭座町4-59 | | 48 | $\frac{13}{13}$ | |
| 坂 本 キ ャ ン パ ス 2 | 長崎市坂本1丁目7-1 | 86,807 | | $\frac{34,353}{179,124}$ | |
| 野 母 崎 研 究 施 設 | 長崎市野母町野母1321 | 15,899 | | $\frac{448}{448}$ | |
| 水産・環境科学総合研究科 附属環東シナ海環境資源研究センター | 長崎市多以良町1551-7 | 10,900 | | $\frac{1,673}{2,649}$ | |
| 職 員 宿 舎 | | 22,753 | | $\frac{2,648}{11,450}$ | $\frac{1,106}{3,304}$ |

| 施設等 | 所在地 | 土地 (㎡) | | 建物 (㎡) | |
|--------------------|--------------|---------|-----|--------------------|----------------|
| | | 大学 | 借用 | 大学 | 借用 |
| 九州地区国立大学島原共同研修センター | 島原市礪石原町甲1201 | 120,286 | | 1,793 2,329 | |
| 国際交流会館 | 長崎市西町12-1 | 3,044 | | 635 1,837 | 499 1,300 |
| 職員宿舎 | | 3,008 | | | 910 2,414 |
| 計 | | 658,964 | 154 | 118,804 410,821 | 2,515 7,018 |
| 合計 | | | | 659,118 | |

船舶

| 所属 | 船名 | 構成 | 総トン数 | 馬力 | 備考 |
|-------|-----|-----------|--------|---------|-----------------------------|
| 水産学部 | 長崎丸 | 鋼船 | 842.00 | 2,800 | 教員, その他の船員22名, 学生収容人員40名 |
| | 鶴洋丸 | アルミニウム合金船 | 155.00 | 1,428×2 | 教員, その他の船員15名, 学生収容人員18名 |
| 学生支援部 | 琴風 | F R P | | 90 | 救助艇, 乗船定員10名 |

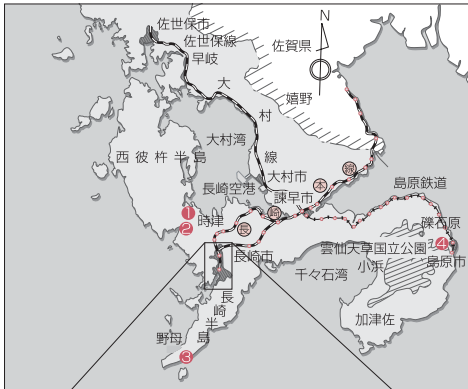
部局等所在地一覧

| 部局の名称 | 電話番号 | 所在地 |
|------------------|-------------------------|----------------------------|
| ・国際連携研究戦略本部 | 095 819 7008 | 〒852 - 8523 長崎市坂本1丁目12 - 4 |
| ・産学官連携戦略本部 | | |
| 共同研究支援部門 | 095 819 2231 | 〒852 - 8521 長崎市文教町1 - 14 |
| 人材育成部門 | 095 819 2876(人材育成関係) | 〃 |
| | 095 819 2233(生涯教育関係) | 〃 |
| 知的財産部門 | 095 819 2188 | 〃 |
| ・広報戦略本部 | 095 819 2007 | 〃 |
| ・監査室 | 095 819 2182 | 〃 |
| ・事務局 | 095 819 2016(総務企画課) | 〃 |
| | 095 819 2032(人事課) | |
| | 095 819 2039(研究企画課) | |
| | 095 819 2038(産学官連携課) | |
| | 095 819 2120(国際交流課) | |
| | 095 819 2065(財務企画課) | |
| | 095 819 2060(財務管理課) | |
| | 095 819 2066(経理調達課) | |
| | 095 819 2072(教育支援課) | |
| | 095 819 2103(学生支援課) | |
| | 095 819 2111(入試課) | |
| | 095 819 2131(施設企画課) | |
| | 095 819 2137(施設整備課) | |
| | 095 819 2141(施設管理課) | |
| | 095 819 2022(情報企画課) | |
| | 095 819 2193(学術情報管理課) | |
| | 095 819 2198(学術情報サービス課) | |
| ・保健・医療推進センター | 095 819 2214 | 〃 |
| ・先導生命科学研究支援センター | | |
| アイソトープ実験施設 | 095 819 7150 | 〒852 - 8523 長崎市坂本1丁目12 - 4 |
| 動物実験施設 | 095 819 7134 | 〃 |
| 遺伝子実験施設 | 095 819 7191 | 〃 |
| ・情報メディア基盤センター | 095 819 2222 | 〒852 - 8521 長崎市文教町1 - 14 |
| ・留学生センター | 095 819 2237 | 〃 |
| ・大学教育機能開発センター | 095 819 2077 | 〃 |
| ・アドミッションセンター | 095 819 2114 | 〃 |
| ・先端計算研究センター | 095 819 2705 | 〃 |
| ・言語教育研究センター | 095 819 2077 | 〃 |
| ・核兵器廃絶研究センター | 095 819 2164 | 〃 |
| ・学務情報推進室 | 095 819 2184 | 〃 |
| ・やってみゅーでスク | 095 819 2870 | 〃 |
| ・男女共同参画推進センター | 095 819 2889 | 〃 |
| ・先端創薬イノベーションセンター | 095 819 2230 | 〃 |
| ・地域教育連携・支援センター | 095 819 2184 | 〃 |

| 部 局 の 名 称 | 電 話 番 号 | 所 在 地 |
|-----------------------------------|---------------------|---|
| ・国 際 交 流 会 館 | 095 845 0201 | 〒852 - 8043 長崎市西町12 - 1 |
| ・国 際 交 流 会 館 坂 本 分 館 | 095 819 7519 | 〒852 - 8102 長崎市坂本1丁目7 - 1 |
| ・臨 海 研 修 所 | 095 882 8301 | 〒851 - 2111 西彼杵郡時津町子々川郷 |
| ・九州地区国立大学島原共同研修センター | 0957 64 2201 | 〒855 - 0026 島原市礪石原町甲1201 |
| ・東 京 事 務 所 | 03 6268 9116 | 〒102 - 0073 東京都千代田区九段北1 - 9 - 17 寺島文庫ビル2F |
| ・教 育 学 部 | 095 819 2263 | 〒852 - 8521 長崎市文教町1 - 14 |
| 附 属 幼 稚 園 | 095 819 2288 | 〒852 - 8131 長崎市文教町4 - 23 |
| 附 属 小 学 校 | 095 819 2272 | 〃 |
| 附 属 中 学 校 | 095 819 2278 | 〃 |
| 附 属 特 別 支 援 学 校 | 095 845 5646 | 〒852 - 8046 長崎市柳谷町42 - 1 |
| 附 属 教 育 実 践 総 合 セ ン タ ー | 095 819 2291 | 〒852 - 8521 長崎市文教町1 - 14 |
| ・経 済 学 部 | 095 820 6300 | 〒850 - 8506 長崎市片淵4丁目2 - 1 |
| ・医 学 部 | | |
| 医 学 科 | 095 819 7000 (番号案内) | 〒852 - 8523 長崎市坂本1丁目12 - 4 |
| 保 健 学 科 | 095 819 7900 〃 | 〒852 - 8520 長崎市坂本1丁目7 - 1 |
| ・病 院 | 095 819 7200 〃 | 〒852 - 8501 〃 |
| ・歯 学 部 | 095 819 7600 〃 | 〒852 - 8588 〃 |
| ・薬 学 部 | 095 819 2413 | 〒852 - 8521 長崎市文教町1 - 14 |
| ・工 学 部 | 095 819 2489 | 〃 |
| ・環 境 科 学 部 | 095 819 2713 | 〃 |
| ・水 産 学 部 | 095 819 2793 | 〃 |
| 水産学部附属練習船長崎丸 | 090 3022 2043 | 〒851 - 2213 長崎市多以良町 |
| 水産学部附属練習船鶴洋丸 | 090 3022 2044 | 〃 |
| ・熱 帯 医 学 研 究 所 | 095 819 7800 (番号案内) | 〒852 - 8523 長崎市坂本1丁目12 - 4 |
| 附 属 ア ジ ア ・ ア フ リ カ 感 染 症 研 究 施 設 | 〃 | 〃 |
| 附 属 熱 帯 性 病 原 体 感 染 動 物 実 験 施 設 | 〃 | 〃 |
| 附 属 熱 帯 医 学 ミ ュ ー ジ ャ ム | 095 819 7868 | 〃 |
| ・原 爆 後 障 害 医 療 研 究 所 | 095 819 7000 (番号案内) | 〃 |
| ・附 属 図 書 館 (中 央 図 書 館) | 095 819 2193 | 〒852 - 8521 長崎市文教町1 - 14 |
| 附 属 図 書 館 (医 学 分 館) | 095 819 7013 | 〒852 - 8523 長崎市坂本1丁目12 - 4 |
| 附 属 図 書 館 (経 済 学 部 分 館) | 095 820 6309 | 〒850 - 8506 長崎市片淵4丁目2 - 1 |
| ・工 学 研 究 科 | 095 819 2489 | 〒852 - 8521 長崎市文教町1 - 14 |
| ・水 産 ・ 環 境 科 学 総 合 研 究 科 | | |
| 水 産 科 学 領 域 | 095 819 2793 | 〒852 - 8521 長崎市文教町1 - 14 |
| 環 境 科 学 領 域 | 095 819 2713 | 〃 |
| 附 属 環 東 シ ナ 海 環 境 資 源 研 究 セ ン タ ー | 095 850 7311 | 〒851 - 2213 長崎市多以良町1551 - 7 |
| ・生 産 科 学 研 究 科 | 095 819 2491 | 〒852 - 8521 長崎市文教町1 - 14 |
| ・医 薬 学 総 合 研 究 科 (医 学 系) | 095 819 7000 (番号案内) | 〒852 - 8523 長崎市坂本1丁目12 - 4 |
| (保 健 学 系) | 095 819 7900 〃 | 〒852 - 8520 長崎市坂本1丁目7 - 1 |
| (歯 学 系) | 095 819 7600 〃 | 〒852 - 8588 長崎市坂本1丁目7 - 1 |
| (薬 学 系) | 095 819 2413 | 〒852 - 8521 長崎市文教町1 - 14 |
| 附 属 薬 用 植 物 園 | 095 819 2413 | 〒852 - 8521 長崎市文教町1 - 14 |
| ・国 際 健 康 開 発 研 究 科 | 095 819 7008 | 〒852 - 8523 長崎市坂本1丁目12 - 4 |

附属熱帯性病原体感染動物実験施設は2013年6月末に廃止予定

長崎大学位置図



臨海研修所

大学院水産・環境科学総合研究科附属環東シナ海環境資源研究センター

野母崎研究施設

九州地区国立大学島原共同研修センター

教育学部附属幼稚園, 附属小学校, 附属中学校

教育学部附属特別支援学校

産学官連携戦略本部, 広報戦略本部, 監査室, 学務情報推進室, 事務局, 教育学部, 附属教育実践総合センター, 薬学部, 工学部, 環境科学部, 水産学部, 附属図書館, 工学研究科, 水産・環境科学総合研究科, 医歯薬学総合研究科(薬学系), 附属薬用植物園, 保健・医療推進センター, 先端生命科学支援センター, 情報メディア基盤センター, 留学生センター, 大学教育機能開発センター, アドミッションセンター, 先端計算研究センター, 言語教育研究センター, 核兵器廃絶研究センター, やってみゅーでスク, 男女共同参画推進センター, 研究推進戦略室, 先端創薬イノベーションセンター, 地域教育連携・支援センター

国際交流会館

国際連携研究戦略本部, 医学部(医学科), 熱帯医学研究所, 原爆後障害医療研究所, 医歯薬学総合研究科(医学系), 国際健康開発研究科, 先端生命科学支援センター, 附属図書館(医学分館)

病院, 歯学部, 医歯薬学総合研究科(保健学系・歯学系), 医学部(保健学科)

経済学部, 附属図書館(経済学部分館)

長崎大学ロゴマーク

正式ロゴマーク



従来、長崎大学で使用されていたシンボルマーク（帆船マーク）は、昭和24年に大学構成員の連帯意識を高め、総合大学として発展するための心のよりどころとして、鎖国時代の文化の門戸であった長崎に因むオランダ船の触先にNU（Nagasaki University）の頭文字を付け、右肩に「大學」の字を配したマークが制定されました。

国立大学法人化を機に従来のシンボルマークを精緻化し、新たに正式ロゴマークとして平成17年4月1日に制定したものです。

略式ロゴマーク



正式ロゴマークとは別に広く使用するものとして新たに略式ロゴマークを平成17年4月1日に制定しました。

中央にある“黄色系の図形”は「学生・教職員」を、右にある“緑色系の図形”は自然環境の豊かな「地域・日本国土」を、そして左にある“青色系の図形”は「地域・日本国土」を取り巻く「広大な海とその先にある国際社会」を表します。

これらの図形の“重なり”はそれぞれの分野での「調和と貢献」を、また“黄色系の円”は「創造」を表しています。

全体を見ると「学生・教職員」と「地域・日本国土」とにより形作られる“人”と「国際社会」とにより形作られた“人”とはさらに合わさって、「長崎大学」を表す“N”を構成しています。



国立大学法人

長崎大学

NAGASAKI UNIVERSITY

【編集発行】長崎大学広報戦略本部

〒852-8521 長崎市文教町1-14

TEL.095-819-2018

URL <http://www.nagasaki-u.ac.jp/>